

1. 学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	現代文編1 随筆、2 小説1	「さくらさくらさくら」 ・引用歌や体験談に注意しながら、日本独特の桜に対する感性について理解を深める。 「とんかつ」 ・会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。	10月28日	1月27日
2	現代文編3 詩歌、5 小説3	「柳あをめる」【短歌】 ・短歌独自の特徴と表現効果を理解する。 「雪の深さを」【俳句】 ・俳句独自の特徴と表現効果を理解し、想像力を働かせて句の主題を読み取る。 「冬が来た」 ・比喻とリフレインの効果を理解して詩を読み味わい、作者のものの感じ方について考える。 「デューク」 ・主人公の心情の変化を読み取り、細かい表現に注意して話の展開を捉える。	10月28日	1月27日
3	古文編1 古文入門、2 随筆	「児のそら寝」 ・歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取る。 「亀山殿の御池に」 ・随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に捉える。	11月25日	1月27日
4	古文編2 随筆、4 物語	「うつくしきもの」 ・作品の内容を自分と関係づけながら、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 「筒井筒」 ・歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。	11月25日	1月27日
5	漢文編1 漢文入門	「守株」「五十歩百歩」「借虎威」 ・漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解する。	12月23日	1月27日
6	漢文編3 論語、4 史話	「論語」 ・孔子の学問・人間・政治に対する考え方を知り、孔子の思想に興味を持つとともに、ものの見方や考え方を豊かにする。 「史話」 ・話の展開や登場人物の言動を読み取り、史話のおもしろさを味わう。	12月23日	1月27日

3. スクーリング

- 実施回数: 1 回
- 実施内容:「羅生門」: 古典を元にして作られた作品と、元の作品を読み比べ、理解を深める。

4. 教材・参考資料

- 教科書: 東京書籍「新編言語文化」(言文701)
- 副教材: レポート解説授業、映像
- デジタル教材: デジタル教材UMU、東京書籍映像授業

1. 学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを旨とする。実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	1 自己を見つめる	「こそそめスープ」 ・筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。 「ルリボシカミキリの青」 ・筆者の少年時代の体験について書かれた文章を読み、自分に当てはめて考える。	5月27日	8月26日
2	2 他者に出会う	「未来をつくる想像力」 ・情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ。 「水の東西」 ・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。	5月27日	8月26日
3	4 視野を広げる	「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」 ・身近な植物を観察してきた成果を述べる文章を読み、提示された新しい視点について理解する。 「無彩色の色」 ・色について論じた文章を、具体例の役割を押さえながら読み、筆者の価値観と主張をつかむ。	6月24日	8月26日
4	5 社会と関わる	「鍋洗いの日々」 ・自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。 「森で染める人」 ・自然や社会の中で生きる意味を考えながら働く筆者の思いに触れ、働くということについて考える。	6月24日	8月26日
5	7 世界とつながる	「美しさの発見」 ・「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み、その展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解する。 「りんごのほっぺ」 ・出来事の順序に着目しながら、戦時下の人々の状況と、作品に一貫する筆者の思いを読み取る。	7月22日	8月26日
6	8 未来に目を向ける	「不思議な拍手」 ・人間の心・意識について体験を踏まえつつ考察する文章を読み、人間への認識を深める。 「真の自立とは」 ・「自立」の在り方について考察する文章を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。	7月22日	8月26日

3. スクーリング

- 実施回数: 1 回
- 実施内容: 異なる種類の文章を読み比べる: 複数の文章を読み比べ、自分の考えを深める。

4. 教材・参考資料

- 教科書: 東京書籍「新編現代の国語」(現国701)
- 副教材: レポート解説授業、映像
- デジタル教材: デジタル教材UMU、東京書籍映像授業

1. 学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出 期限	提出最終 期限
1	1. 光の窓 2. 雨月物語 3. 山月記	・筆者のものの見方や感じ方を読み取り、言葉と感覚との関係について考える。 ・『雨月物語』が筆者にどのような影響を与えたかを考える。 ・登場人物の心情を表現に即して把握し、主人公の内面と苦悩について考える。	10月28日	1月27日
2	1. 窓 2. 言葉を生きる 3. 詩と感情生活	場面や登場人物の設定における特徴を捉え、作中の「短編小説」が象徴するものについて考える。 ・筆者の考えを表現に即して読み取り、「生きること」と「言葉」の関係について理解を深める。 ・論の展開を踏まえて筆者の主張を捉え、詩の特質について考えを深める。	10月28日	1月27日
3	1. 山椒魚 2. 沖縄の手記から	・登場人物の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える。 ・戦争の中に生きる登場人物の生き方や考え方を捉え、人間の生と死について考えを深める。	10月28日	1月27日
4	1. 鉄 2. 竹 3. 永訣の朝 4. 硝子の胸 5. モードの変遷	・詩に表現された事柄を捉え、日常の行動に込められた思いを読み取る。 ・特徴的なリズムや表現に気づき、その効果を読み取る。 ・表現された内容を読み取り、描かれた行動や言葉から思いを解釈する。 ・短歌独自の特徴と表現効果を理解し、言葉に込められた心情を読み取る。 ・具体例として挙げられた短歌の表現の特質を理解し、時代の変化との関わりを考える。	10月28日	1月27日
5	1. こころ	・人物の関係性と心情を的確に捉え、人の心のありようについて考えを深める。	11月25日	1月27日
6	1. 文学のふるさと 2. 文学の未来 3. 鞆 4. あの朝	・具体例と筆者の主張との関係に注意して評論を読み、文学のよりどころについて理解を深める。 ・本文中における引用の役割を押さえて筆者の主張を理解し、文学の意義について理解を深める。 ・寓意に注意しながら小説を読み、「現代」という時代について考えを深める。 ・場面ごとの設定を押さえて、その転換に伴う登場人物の状況や心情の変化を読み取る。	11月25日	1月27日
7	1. 国語から旅立って 2. 書かれた風景の中へ 3. 檸檬	・筆者の多言語体験に基づく随筆を読み、言葉と自分との関係を考えを深める。 ・筆者の読書体験に基づく随筆を読み、言葉と自分との関係を理解する。 ・登場人物の心理を読み取り、「檸檬」の持つ意味について考える。	11月25日	1月27日
8	1. コンビニの母 2. 夏の姿 3. 帰途 4. 小諸なる古城のほとり 5. 金剛の露 6. 平気	・登場人物の言動・心理を表現に即して読み取り、現代社会における人間関係について考える。 ・象徴的な表現が示している内容を理解し、描かれた情景や心情を読み取る。 ・逆説的な表現の中に描かれた、「言葉」に対する「ばく」の思いを読み取る。 ・文語の響きや五七調のリズムに親しみ、詩に描かれた情景や心情を読み取る。 ・俳句独自の特徴と表現効果を理解し、想像力を働かせて句の主題を読み取る。 ・顔文とその解釈によって描き出される人物像を的確に捉え、人間と文学の関係について考える。	11月25日	1月27日
9	1. 空っぽの瓶 2. クレールという女 3. 父と晝せば	・人称を巡る筆者の体験や考えを読み取り、言葉と存在の関わりについて考える。 ・長い時間をかけて深まってきた筆者の読書体験を読み取り、人間の生き方について考える。 ・対話を軸にした構成に注意しながら戯曲を読み、原爆の惨禍と人間の幸福について考える。	12月23日	1月27日
10	2. 舞姫	・構成や時代背景に注意しながら主人公の葛藤を読み取り、人生の選択について考える。	12月23日	1月27日
11	1. 演技する「私」 2. 映画の可能性のために	・筆者の主張の展開を押さえ、小説における作者と小説内の「私」との関係について考えを深める。 ・映画と小説を題材にした評論を読み、作品を成立させる視点のありようについて理解を深める。	12月23日	1月27日
12	1. 葉桜と魔笛 2. 蠅	・物語の展開を把握しつつ、そこに浮かび上がる人間の心の奥深さを味わう。 ・視点の移動に注意しながら、描かれた場面や状況を読み取り、作品の主題について考える。	12月23日	1月27日

3. スクーリング

□ 実施回数： 2 回

□ 実施内容： 翻案を作成する：『今昔物語集』「離魂記」という和漢の古典を元に、翻案を創作する。

4. 教材・参考資料

□ 教科書：東京書籍（文国701）

□ 副教材：レポート解説授業、映像

□ デジタル教材：デジタル教材UMU、東京書籍映像授業

1. 学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	対話とは何か・世界をつくり替えるために	・対話についての筆者の考えを捉え、日常のコミュニケーションの在り方を振り返る。 ・学ぶことの意味について、筆者の主張を読み取り、自分に引き寄せて考える。	5月27日	8月26日
2	少女たちの「ひろしま」「ふしぎ」ということ	・戦時下に生きた人々の日常と悲劇に思いを巡らし、時代や社会について考える態度を養う。 ・挙げられている話題を関連づけて読み取り、「ふしぎ」ということについて考えを深める。	5月27日	8月26日
3	学ぶことと人間の知恵 ラップトップ抱えた「石器人」	・文のつながりに着目して主張を読み取り、人間の思考や学ぶことの意義について理解を深める。 ・事実と主張の関係に注意して文章を読み、人間の脳の働きについて考える。	5月27日	8月26日
4	思考の肺活量 安心について	・比喩表現に注意して内容を読み取り、思考のあるべき姿について理解を深める。 ・文章構成に注意して筆者の考えを理解し、安心というものの本質について考える。	5月27日	8月26日
5	弱肉強食は自然の摂理か 複数の「わたし」	・筆者の提示している問いや根拠に注意して読み、文章の論理展開を的確に捉える。 ・文章に示された考え方を手がかりに、「わたし」の捉え方について理解を深める。	6月24日	8月26日
6	はじめに「言葉」がある 楽に働くこと、楽しく働くこと	・筆者の仕事の経験を手がかりにして、働くことと言葉の関わりについて考える。 ・楽しく働くとはどういうことかについての筆者の考え方を理解する。	6月24日	8月26日
7	最初のペンギン 豊かさとは生物多様性	・タイトルに象徴される筆者の考えを手がかりにして、自分の生き方について考える。 ・論の展開に注意して読み、生物多様性の重要性と課題について理解を深める。	6月24日	8月26日
8	・物語の外から・カフェの開店準備	・二人の語り部に共通する姿から、「語る」ということの本質について考えを深める。 ・日々の何気ない光景から広がっていく筆者の思考を手がかりにして、自分の日常を見つめ直す。	6月24日	8月26日
9	鏡としてのアンドロイド ロボットが隣人になるとき	・アンドロイドの研究を踏まえた評論を読んで、人間に対する筆者の考えを捉える。 ・哲学的な思考に沿って書かれた評論を読んで、人間の意志や自由について理解を深める。	7月22日	8月26日
10	言葉は「物の名前」ではない 科学的「発見」とは	・言語と認識の関係について、具体例をもとに主張している評論を読み、言葉の働きについて考える。 ・本文中の二つの課題を体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義を理解する。	7月22日	8月26日
11	知識における作者性と構造的性 もう一つの知性	・インターネットと本を比較しながら書かれた評論を読み、情報と知識について理解を深める。 ・科学的思考とは異なる思考の在り方を理解し、現代社会を生きるうえで必要な態度について考える。	7月22日	8月26日
12	ホンモノのおカネの作り方 未来のありか	・二つの例の対比に注意して論旨をたどり、貨幣の持つ不思議さについて理解を深める。 ・小見出しを参考にして各部分の内容と関係を読み取り、未来とは何かについて考える。	7月22日	8月26日

3. スクーリング

□ 実施回数: 2 回

□ 実施内容: 論文を執筆する: 資料を基に論文を執筆し、グループディスカッションで改善点を見出して修正し完成させる。

4. 教材・参考資料

□ 教科書: 東京書籍(論国701)

□ 副教材: レポート解説授業、映像

□ デジタル教材: デジタル教材UMU、東京書籍映像授業

科目名:歴史総合

単位数:2単位

学年次:1年次 後期

1. 学習の目標

- ①近現代の歴史事象を、世界と日本の視点から捉え、現代課題の形成過程を理解し、資料から情報を整理する技能を養う。
- ②時期、推移、比較などに着目し、多角的な考察や議論を通じ、歴史の意義や課題解決の構想、説明力を高める。
- ③また、歴史学習を通してより良い社会実現に向けた主体性や、日本国民としての自覚、他国文化の尊重を深め、「時空間への関わり」を学ぶ。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	歴史の特質及び資料と史料	歴史を正しく学ぶことの意味と意義 ◆遺物、文書、画像などの資料を活用し、資料に基づく歴史の記述を理解する。	10月28日	1月27日
2	近代化による世界の中の日本	世界各地ごとの推移と日本との関係 ◆交通、産業、権利意識、教育、労働、移民などの資料を活用、近代化による生活と社会の変容を多角的に考察する。	10月28日	1月27日
3	国民国家と明治維新	市民革命の影響と日本の歴史的経過 ◆帝国主義政策の背景や影響に着目し、その特徴や列強間の関係変容を多角的に考察、表現することで帝国主義とアジア諸国の変容を理解する。	11月25日	1月27日
4	第一次世界大戦の周辺事情	社会主義思想とその国家形成の影響 ◆第一次世界大戦前後の社会変化に着目し、戦後の社会変容と運動の関連を多角的に考察、表現することで大衆社会と運動の広がりを理解する。	11月25日	1月27日
5	経済危機と第二次世界大戦	界恐慌の波及による建設と破壊 ◆第二次世界大戦の推移と影響、国際秩序の形成に着目、戦争の性格や惨禍、戦下の社会状況、占領政策と国際情勢の関係を多角的に考察、表現することで戦後国際秩序と日本の国際復帰を理解する。	12月23日	1月27日
6	グローバル化への道筋と課題	キューバ危機の意味するものと今後の世界 ◆冷戦、国際関係、人と資本の移動、情報通信、食料・人口、資源・エネルギー、感染症、共存等の資料を活用し、グローバル化に伴う生活と社会の変容を多角的に考察し問いを表現する。	12月23日	1月27日

3. スクーリング

□実施回数: 1回

□実施内容: 思想と宗教へのまなざし

※パレスティナ問題の経過と今後: 歴史と現在のイスラエルの立場を考察し、戦争の本質を探る。

4. 教材・参考資料

□教科書: 東京書籍

□副教材: レポート解説授業、映像

□デジタル教材: UMU

1. 学習の目標

- ①我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解し、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- ②我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目、概念などを活用した多面的・多角的な考察、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れた構想力、考察、構想したことを効果的に説明し、議論する力を養う。
- ③我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	先史社会と古代社会	古代国家の支配構造とその後への影響を 探る。	5月27日	8月26日
2	天平文化・唐風文化から中 世社会	中国社会の影響と国家運営の基本姿勢を 探る。	5月27日	8月26日
3	武家政権の成立	公地公民の崩壊過程と新たな支配者の台 頭過程を探る。	5月27日	8月26日
4	室町文化及び近世社会の形 成	文化の勃興と宗教の変容及び政治的揺籃 期を探る。	6月24日	8月26日
5	幕藩体制の確立と動揺	政治の変容と改革の背景及び一連の矛盾 点を探る。	6月24日	8月26日
6	近代社会の幕開けと近現代 の展開	江戸幕府の崩壊と明治維新に伴う日本社会 の変容を探る。	6月24日	8月26日
7	資本主義の成立からデモク ラシー	日清・日露及び第一次世界大戦への過程と 資本主義の関係を探る。	7月22日	8月26日
8	第二次世界大戦とその後の 日本	中国侵略と第二次世界大戦を経た日本の 民主化過程を探る。	7月22日	8月26日
9	国際社会への復帰と高度経 済成長	経済成長の背景と国際社会の中の日本の 位置づけを探る。	7月22日	8月26日

3. スクーリング

□実施回数: 2回

□実施内容: 多様な資料をもとに歴史を探究し、現代社会の成り立ちを考える。グループワークや発表を通じて、思考力・表現力・協働力を養う。

4. 教材・参考資料

□教科書: 東京書籍

□副教材: レポート解説授業、映像

□デジタル教材: UMU

科目名:政治・経済 単位数:2単位 学年次:3年次 前期

1. 学習の目標

- ①社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
- ②国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。
- ③よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、日本および国際社会において国家および社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	民主政治と日本国憲法の基本原理	民主主義の基本と成り立ち及び意義について、絶対王政から三権分立の過程を通じた権利の位置づけ、近現代人の獲得してきた民主的原理を学ぶ。	5月27日	8月26日
2	日本の政治機構と現代政治の課題	政治のしくみと国民の在り方及び諸課題との向き合い方、日本国憲法の規定と実際の運用実態、日本国憲法に基づく内閣や国会及び選挙について学ぶ。	5月27日	8月26日
3	資本主義経済と現代経済のしくみ	経済の基本的な構造と我々との関わり及び重要性について、マクロ経済学の在り方と現実政治との関係、通貨制度や金融政策を通して、経済政策の実態を学ぶ。	6月24日	8月26日
4	日本経済及び現代日本の諸課題	歴史的経緯とその教訓及び不可欠な向き合い方、社会保障制度と年金制度からみた日本社会、労働・年金・社会保障などを通して日本の社会構造を学ぶ。	6月24日	8月26日
5	国際政治のしくみと日本	世界の中の日本への認識と世界市民としての姿勢、国際社会の成り立ちに対する各種の条約と現況、国際法を軸に世界の動向と日本の立場を学ぶ。	7月22日	8月26日
6	国民経済と国際経済の現状と諸課題	グローバル化社会における経済の捉え方、貿易と国際決済から紛争と調整の在り方及び民族問題、貿易上の諸事項から国際経済体制の変遷と対応について学ぶ。	7月22日	8月26日

3. スクーリング

□実施回数: 1回

□実施内容:18歳からの社会参加③「ライフプランと金融」:ライフプランにおける金融の位置づけと関わり方への適切な認識について、対話を通じて学ぶ。

4. 教材・参考資料

- 教科書:東京書籍 政経701
- 副教材:レポート解説授業、映像
- デジタル教材:デジタル教材UMU

1. 学習の目標

- ① 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- ② 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ③ 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを理解する。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	1.地図や地理情報システムでとらえる現代世界	地球の特性と地図に関わる私たちの日常についてさまざまな地図があることを理解し、地図利用の可能性を学習する。地形図や地理院地図の特徴を理解する理解し、地理情報システム（GIS）が幅広い分野で使われていることについて学習する。	5月27日	8月26日
2	2.人々の生活文化と多様な地理的環境 2-1.生活文化と自然環境	多様性理解と地形に伴う生活文化の成り立ちについて、世界には多様な文化が存在すること、近年それが均一化する傾向にあることを理解する。また、地域によって文化が異なる理由について自然環境の観点から考える。	5月27日	8月26日
3	2.人々の生活文化と多様な地理的環境 2-2.生活文化と産業	社会環境・工業・通信産業等の観点から、地域による特色を理解する。また、情報化社会における働き方について考える。	6月24日	8月26日
4	3.さまざまな地球的課題と国際協力 3-1.環境問題・資源エネルギー問題・人口問題	環境問題の発生が、人間の活動によって引き起こされていることを理解する。資源・エネルギーの生産地と消費地が地理的に離れている事を理解し、現在のエネルギー問題について考える。世界的な人口の推移とそれに伴う問題・対策について学習する。	6月24日	8月26日
5	3.さまざまな地球的課題と国際協力 3-2.食料問題・住居都市問題・民族問題	食料問題と住居・都市問題について発生している背景と対策について理解する。民族問題について、具体例を学習した上で、先進国と発展途上国の対立などの課題があることを理解し、持続可能な開発のための解決法を考える。	7月22日	8月26日
6	4.持続可能な地域づくりと私たち	日本の地形の特徴について理解し、地震災害・津波災害について具体的に学ぶ。大規模災害への対応について、自助・共助・公助の視点からどのようなことが行われているか理解する。	7月22日	8月26日

3. スクーリング

□ 実施回数： 1 回

□ 実施内容：自然環境と自然災害との関係：自然災害について、自分の出身地域で起こりえる災害とその対策についてグループワークを通して考察する。共通の対策として、地理情報システム（GIS）の仕組みとその活用を理解する。

4. 教材・参考資料

□ 教科書：東京書籍 地理総合（地総701）

□ 副教材：レポート解説授業、映像

□ デジタル教材：デジタル教材UMU、東京書籍映像授業

科目名:地理探究

単位数:3単位

学年次:3年次 前期

1. 学習の目標

①地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向性や関連する課題の発生要因を捉える学習を通して、現代世界の諸事象の地理的認識を深めるとともに、系統地理的な考察方法を身に付ける。

②①をふまえ、選択した地域の特性とそこで発生する諸課題について捉える学習を通して、現代世界の諸地域の地理的認識を深めるとともに、地誌的な考察方法を身に付ける。

③①、②をふまえ、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や持続可能な国土像の在り方を構想する学習を通して、現代世界における日本の現状と望ましい将来像についての認識を深めるとともに、主体的な学習活動である探究の手法を身に付ける。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	1-1.自然環境 世界の地形、気候と自然環境	人間生活の基盤となるさまざまな世界の地形について特徴や形成過程について深く理解する。地球規模の気候の特徴を学び、植生や土壌などの自然環境について理解する。	5月27日	8月26日
2	1-1.自然環境 気候と人々の生活、日本の自然環境と自然災害、世界の環境問題	気候区の特徴を理解し、気候と人々の生活の関連性について学習する。日本の自然環境から発生可能性のある自然災害を学び防災・減災について考える。世界の環境問題について考察する。	5月27日	8月26日
3	1-2.産業と資源 産業の発展と社会的分業、農林水産業、食料問題	産業の発展と社会的分業について理解し、グローバル化する農林水産業と世界の食料問題について考察する。	5月27日	8月26日
4	1-2.産業と資源 エネルギーと鉱産資源、資源・エネルギー問題、工業の立地と工業地域の変容、第三次産業	資源分布の偏りやエネルギー消費の地域差を学び、資源ナショナリズムの事例などを考察する。エネルギー安全保障の観点から再生可能エネルギーや資源自給率の現状を学習する。世界の工業立地や工業地域の変容を理解する。	6月24日	8月26日
5	1-3.交通・通信、貿易、観光 交通・通信、貿易と経済連携、観光 1-4.人口、村落・都市 人口、人口問題、村落・都市、居住・都市問題	グローバル化に伴い発達する交通・通信、貿易と経済連携、観光について学び、世界で生じている問題を多角的に考察する。世界の人口分布や、発展途上国と先進国が抱える人口問題を理解する。村落や都市の機能や分布を学び大都市圏の発展過程を理解する。発展途上国と先進国が抱える居住・都市問題を理解し日本の都市が直面する課題を考察する。	6月24日	8月26日
6	1-5.生活文化、民族・宗教 生活文化の地域性、民族・言語・宗教、民族問題、現代の国家と領土問題	生活文化の地域性、民族・言語・宗教の多様性を学び、それに伴い起こる民族問題を理解・考察する。国家と領土問題を世界的な視野で捉える。	6月24日	8月26日
7	2-1.現代世界の地域区分 地域区分の意義と方法 2-2.現代世界の諸地域 東アジア、東南アジア、南アジア、西アジアと中央アジア、北アフリカとサハラ以南アフリカ	地域区分の意義と方法を理解し、地域の捉え方を多角的に考察する。その考察方法を基に、東アジア、東南アジア、南アジア地域について事象ごとに整理し考察する。西アジアと中央アジア、北アフリカとサハラ以南アフリカについて、二つの地域を比較し考察する。	7月22日	8月26日
8	2-2.現代世界の諸地域 ヨーロッパ、ロシア、アンゴロアメリカ、ラテンアメリカ、オセアニア	ヨーロッパは地域統合の観点で考察する。ロシア、アンゴロアメリカ、ラテンアメリカ、オセアニアの各地域について事象ごとに整理し考察する。	7月22日	8月26日
9	3-1.持続可能な国土像の探究 日本の地理的諸課題を読み解く、持続可能な国土像の探究	これまでの学習内容を踏まえて、日本の地域構造の特徴や国土政策の変遷を学び、持続可能な国土形成について探究する。	7月22日	8月26日

3. スクーリング

□ 実施回数:2回

□ 実施内容:世界各国または日本に関する統計データ・資料などを駆使し、地理的課題の解決策や持続可能な国土像についてグループワークなどを通じて理解を深める。

4. 教材・参考資料

□ 教科書:東京書籍(地探701)

□ 副教材:レポート解説授業、映像

□ デジタル教材:デジタル教材UMU、東京書籍映像授業

1. 学習の目標

- ① 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- ② 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- ③ よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民権をにう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	青年期と自己形成の課題、自己形成と社会への参加、個人として尊重される人間、社会的な存在としての人間	自分らしさの形成過程、人間関係と社会との関わり、「個人」として尊重することの意味、「社会的な存在」であることの意味と意義、個人の意思や意見と伝統・文化との関わりなど、自己形成にまつわる課題を考察する。	5月27日	8月26日
2	功利主義と幸福の原理、義務論と公正の原理、公共的な空間における協働とは、民主主義とは、立憲主義とは	目的論の象徴的事例と倫理、義務論の意味と正義における諸観点、「協働」の成立原理とゲーム理論からの視点、民主主義の意義と「多数者の専制」、憲法の実在意義とその成り立ち、人権と平等を確保するための諸要素などについて考察する。	5月27日	8月26日
3	私たちの民主政治、地方自治のしくみと役割、国会のしくみと役割、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論	社会生活に果たす政治の役割、地域社会の諸課題と地方自治の役割、三権分立における国会の位置づけ、行政権の在り方とその周辺、選挙制度のしくみと参政の意義、民主政治における政党の役割と現状、メディア・リテラシーと情報への視点などを学ぶ	6月24日	8月26日
4	法と社会規範の役割、法の成立と運用、市民生活と法、多様な契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと役割、刑事司法と司法参加の意義	法の構成と社会との関係、法の適用と解釈の効果、社会生活における民法の役割、契約の意義と法的な位置づけ、消費者の心得と保護の在り方、「司法権の独立」の意義と担保の在り方、社会秩序を維持する刑事司法と私たちの関わりなどについて学ぶ	6月24日	8月26日
5	私たちと経済、市場経済のしくみ、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働き、財政の課題、社会保障の考え方、社会保障の課題とこれから、多様な職業選択、労働者の権利、現代の雇用・労働問題	経済活動と経済循環の変遷と現状、価格決定のメカニズムと市場経済の在り方、経済指標の意味と景気動向との関係、貨幣の諸機能と金融システムの役割、金融政策の事例確認とその効果、財政の機能とそのしくみ、税金の原則と実態からみた財政問題、社会保障の存在意義と日本の実情、持続可能な社会保障制度の在り方、職業と労働市場の関係と経済との関係、労働問題の実態認識などについて多角的に考察する	7月22日	8月26日
6	国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の世界と日本、現代の紛争とその影響、平和な国際社会に向けて、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と今日の国際経済、国際経済の諸課題	国際社会の成立による国際規範の経過、国際連合の成立過程とその意義及び課題、文民統制の意義と戦後日本の防衛政策、日本の安保政策と自衛隊の役割、パレスチナ問題に象徴される不安定要素、平和の定義とその実現への課題、自由貿易と保護貿易の意味と各国の関り、外国為替市場の成立と国際通貨制度、国際経済秩序とこれからの国際関係など、現代の諸課題について情報を集めて考察する。	7月22日	8月26日

3. スクーリング

- 実施回数: 1回
- 実施内容: ゲーム理論と人間行動
社会における戦略思考の実態について、ワークなどを通じて学ぶ

4. 教材・参考資料

- 教科書: 東京書籍
- 副教材: レポート解説授業、映像
- デジタル教材: UMU

科目名:倫理

単位数:2単位 学年次:2年次 後期

1. 学習の目標

- ①古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付ける。
- ②自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。
- ③人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	人間の在り方と人生観・倫理観・世界観	人間とは何かを問うことで「哲学する」ことの意味を知り、古典哲学を通して哲学の意義そのものを学ぶ	10月28日	1月27日
2	宗教と社会を通じた人間と思想の関係	世界三大宗教と中国思想を基に、思想と人間の関わり方を学ぶ	10月28日	1月27日
3	近代思想の展開と社会との関わり	近代哲学への理解と認識に基づく社会の意味とそこでのあるべき生き方を探る	11月25日	1月27日
4	対象への眼差し	自己という他者・対象という他者の往還による全存在への思考機会を得る	11月25日	1月27日
5	国際社会における日本人への視点	日本人の客体化を通して、その精神性や思想風土の歩みと影響に触れる	12月23日	1月27日
6	現代の諸課題と倫理	「倫理」の本来的定義の再確認と諸課題に対する日本的姿勢の関係を考察する	12月23日	1月27日

3. スクーリング

- 実施回数: 1回
- 実施内容:「思想と対話～幸福と愛をめぐる」
※「幸福とは何か」という問いへの哲学者のヒントを探り、エロースとフィリアから「愛とは何か」へと巡る

4. 教材・参考資料

- 教科書:東京書籍
- 副教材:レポート解説授業、映像
- デジタル教材:UMU

科目名:英語コミュニケーション I 単位数:3単位 学年次:1年次 前期

1. 学習の目標

- (1) 基本的な英単語や文法項目を理解し、英語コミュニケーションの基礎を身に着ける。
- (2) 動画や音源を活用し、コミュニケーションに必要な、音声の受信・発信の力を養う。
- (3) ペアワークやグループワークを通じ、積極的にコミュニケーションを取る態度を養い、言語・非言語コミュニケーションの楽しさを体感する。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	Pre-Lesson1 be動詞 Pre-Lesson 2 一般動詞	be動詞や一般動詞の平叙文、否定文、疑問文の作り方について学ぶ。	5月27日	8月26日
2	Lesson 1 過去形 Lesson 2 進行形	be動詞や一般動詞の過去形や進行形の作り方や否定文、疑問文の作り方について学ぶ。	5月27日	8月26日
3	Lesson 3 助動詞 Lesson 4 to不定詞	助動詞の平叙文、否定文、疑問文の作り方やto不定詞の様々な用法について学ぶ。	5月27日	8月26日
4	Lesson 5 動名詞	動名詞の作り方や文での役割、また動名詞を用いた様々な慣用表現について学ぶ。	6月24日	8月26日
5	Lesson 6 受け身	受け身の平叙文、否定文、疑問文の作り方について学ぶ。	6月24日	8月26日
6	Lesson 7 比較表現	原級、比較級、最上級を用いた様々な比較表現について学ぶ。	6月24日	8月26日
7	Lesson 8 現在完了形	現在完了形の平叙文、否定文、疑問文の作り方について学ぶ。	7月22日	8月26日
8	Lesson 9 分詞	現在分詞と過去分詞を用いた様々な文を学ぶ。	7月22日	8月26日
9	Lesson 10 関係代名詞	関係代名詞の平叙文、否定文、疑問文の作り方について学ぶ。	7月22日	8月26日

3. スクーリング

- 実施回数: 5 回
- 実施内容: ペアワークやグループワークによる対話を通じて、英語コミュニケーションの基礎を身に着ける。

4. 教材・参考資料

- 教科書: 東京書籍 (ALL Aboard C1 701)
- 副教材: ユメブンO
- デジタル教材: デジタル教材UMU、東京書籍映像授業

科目名:論理・表現Ⅰ 単位数:2単位 学年次:1年次 後期

1. 学習の目標

多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、

1. 文脈にあった質問や答えを続けることで、情報や考え、気持ちなどを、やり取りを通して伝え合うことができる。
2. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、話して伝えることができる。
3. 論理の構成や展開を工夫することで、情報や考え、気持ちなどを、書いて伝えることができる。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	Unit1/L1~4 自己紹介・人物紹介・体調	自分自身や身近な人を効果的に紹介することを学ぶ、体調に関するQ&Aができるよう学ぶ。	10月28日	1月27日
2	L5~8 買い物・希望・相談	自分の希望・理由を述べるができるよう学ぶ 説明・助言の仕方を学ぶ。	10月28日	1月27日
3	L9~12 ディスカッション・英字新聞	要約・紹介・批評について学ぶ 謝罪・励まし・共感・解決策の提案を学ぶ。	11月25日	1月27日
4	Unit2/L1~3 ディベート・スピーチ	効果的なスピーチの仕方、ディベートの仕方を学ぶ。	11月25日	1月27日
5	L4~6 説明・紹介	順序立てて説明し、事実と意見を区別して伝えることを学ぶ、文化・習慣について話し、話題を発展・変更できるよう学ぶ。	12月23日	1月27日
6	L7・8 説得	主張・要約・引用・条件を含む意見・説得の方法について学ぶ。	12月23日	1月27日

3. スクーリング

□ 実施回数: 4回

□ 実施内容: ペアワーク、チームワークを通して英語を使ってコミュニケーションを取る方法を学ぶ。話した内容を英文でまとめることに挑戦する。

4. 教材・参考資料

□ 教科書: 東京書籍 NEW FAVORITE I

□ 副教材: レポート解説授業、映像

□ デジタル教材: デジタル教材UMU、東京書籍映像授業

科目名: 英語実技A

単位数: 2単位

学年次: 2年次 前期

1. 学習の目標

- (1) 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
- (2) 聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。
- (3) 言語や運用についての知識を身につけ、英語表現に活用することができる。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	『ユメブン0』 Unit 0、Unit 02 『キクタンReading 2000』 Day 01、Day 02	・be動詞(現在)と指示代名詞(There is / There are～構文)について学ぶ。 ・キクタンReading2000「Day01 Sleepy」「Day02 Green」を通して英文に触れ、読み解く力を養う。	5月27日	8月26日
2	『ユメブン0』 Unit 03、Unit 04 『キクタンReading 2000』 Day 03、Day 04	・一般動詞(現在)、過去形について学ぶ。 ・キクタンReading 2000「Day 03 Hungry」「Day 04 Would you like a hamburger?」を通して英文に触れ、読み解く力を養う。	5月27日	8月26日
3	『ユメブン0』 Unit 05、Unit 06 『キクタンReading 2000』 Day 05、Day 06	・進行形、疑問について学ぶ。 ・キクタンReading 2000「Day 05 Umbrellas」「Day 06 Bicycles in Japan」を通して英文に触れ、読み解く力を養う。	6月24日	8月26日
4	『ユメブン0』 Unit 07、Unit 08 『キクタンReading 2000』 Day 07、Day 08	・疑問詞、感嘆文・命令文、助動詞(will / can)について学ぶ。 ・キクタンReading 2000「Day 07 Winter Festivals」「Day 08 How many words are there in the English language?」を通して英文に触れ、読み解く力を養う。	6月24日	8月26日
5	『ユメブン0』 Unit 09、Unit 10 『キクタンReading 2000』 Day 09、Day 10	・助動詞(must / may / Shall I ~ ? / should)、不定詞の基本用法について学ぶ。 ・キクタンReading 2000「Day 09 A Large Family」「Day 10 A Message on an Answering Machine」を通して英文に触れ、読み解く力を養う。	7月22日	8月26日
6	『ユメブン0』 Unit 11、Unit 12 『キクタンReading 2000』 Day 11、Day 12	・不定詞のさまざまな表や動名詞について学ぶ。 ・キクタンReading 2000「Day 11 A Mystery Vacation」「Day 12 Choosing a Job」を通して英文に触れ、読み解く力を養う。	7月22日	8月26日

3. スクーリング

- 実施回数: 4回
- 実施内容: リスニングとスピーキングのトレーニングに重点を置き、英語運用能力と実践能力を養う。

4. 教材・参考資料

- 教科書: ユメブン0、キクタンリーディング2000
- 副教材: レポート解説授業、定期授業、映像
- デジタル教材: デジタル教材UMU

科目名: 英語実技B

単位数: 2単位

学年次: 2年次 後期

1. 学習の目標

- (1) 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
- (2) 聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。
- (3) 言語や運用についての知識を身につけ、英語表現に活用することができる。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	『ユメブン0』 Unit 13、Unit 14 『キクタンReading 2000』 Day 13～Day 16	・比較、受動態について学ぶ。 ・キクタンReading 2000「Day 13 Don Quixote」「Day 14 The Value of Art」「Day 15 Back to Nature」「Day 16 An Interesting Custom」を通して英文に触れ、読み解く力を養う。	10月28日	1月27日
2	『ユメブン0』 Unit 15、Unit 16 『キクタンReading 2000』 Day 17～Day 20	・現在完了、分詞の形容詞的用法、Vingと過去分詞について学ぶ。 ・キクタンReading 2000「Day 17 No Words Necessary」「Day 18 Private Cellphones」「Day 19 A Quick History Lesson」「Day 20 A Good Speech」を通して英文に触れ、読み解く力を養う。	10月28日	1月27日
3	『ユメブン0』 Unit 17、Unit 18 『キクタンReading 2000』 Day 21～Day 24	・関係代名詞、いろいろな文の形について学ぶ。 ・キクタンReading 2000「Day 21 Car Accidents」「Day 22 Reasons for the Low Birth」「Day 23 Life Lessons from Play」「Day 24 Work Sharing」を通して英文に触れ、読み解く力を養う。	11月25日	1月27日
4	『ユメブン1』 Unit 01、Unit 02 『キクタンReading 2000』 Day 25～Day 28	・動詞の形(現在形と過去形)、動詞の形(未来の表し方と進行形)について学ぶ。 ・キクタンReading 2000「Day 25 Entering Famous Universities」「Day 26 For the Love of Studying」「Day 27 A Doctor's Skill」「Day 28 Do You Hate the Dentist?」を通して英文に触れ、読み解く力を養う。	11月25日	1月27日
5	『ユメブン1』 Unit 03、Unit 04 『キクタンReading 2000』 Day 29～Day 32	・動詞の形(完了形と完了進行形)、受動態(受動態の基本、助動詞が入った受動態、進行形/完了形の受動態)について学ぶ。 ・キクタンReading 2000「Day 29 Truth about Time Travel」「Day 30 Clever Crows」「Day 31 Internet Safety」「Day 32 A Discovery We Look Right Through」を通して英文に触れ、読み解く力を養う。	12月23日	1月27日
6	『ユメブン1』 Unit 05、Unit 06 『キクタンReading 2000』 Day 33～Day 36	・受動態(授与動詞のある文の受動態・注意すべき受動態)、助動詞の基本について学ぶ。 ・キクタンReading 2000「Day 33 Rising Water」「Day 34 Wild City Creatures」「Day 35 The Importance of Atmosphere」「Day 36 Growing Deserts」を通して英文に触れ、読み解く力を養う。	12月23日	1月27日

3. スクーリング

- 実施回数: 4回
- 実施内容: リスニングとスピーキングのトレーニングに重点を置き、英語運用能力と実践能力を養う。

4. 教材・参考資料

- 教科書: ユメブン0、ユメブン1、キクタンリーディング2000
- 副教材: レポート解説授業、定期授業、映像
- デジタル教材: デジタル教材UMU

1. 学習の目標

- (1) 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
- (2) 聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。
- (3) 言語や運用についての知識を身につけ、英語表現に活用することができる。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	『ユメブン1』 Unit 07, Unit 08 『キクタンReading 4000』 Day 01～Day 04	・助動詞(推量や可能性を表す助動詞・助動詞+have+過去分詞)、仮定法の基本について学ぶ。 ・キクタンReading 4000「Day 01 Exercise Everyday」「Day 02 My First Band」「Day 03 Be Ready for the Future」「Day 04 Vegetable Preferences」を通して英文に触れ、読み解く力を養う。	5月27日	8月26日
2	『ユメブン1』 Unit 09, Unit 10 『キクタンReading 4000』 Day 05～Day 08	・仮定法(should / were to・ifの省略など、仮定法現在)、不定詞(不定詞の基本、否定語の位置)について学ぶ。 ・キクタンReading 4000「Day 05 All Work and No Play」「Day 06 From a Hobby to a Profession」「Day 07 Manage Your Time」「Day 08 Greetings Are Important」を通して英文に触れ、読み解く力を養う。	5月27日	8月26日
3	『ユメブン1』 Unit 11, Unit 12 『キクタンReading 4000』 Day 09～Day 12	・不定詞(意味上の主語、原形不定詞、完了不定詞、不定詞の受動態と進行形)、動名詞(動名詞の基、意味上の主語、完了動名詞、動名詞の受動態)について学ぶ。 ・キクタンReading 400「Day 09 True Friends」「Day 10 My Brother」「Day 11 A Local Hero」「Day 12 Love Letters」を通して英文に触れ、読み解く力を養う。	6月24日	8月26日
4	『ユメブン1』 Unit 13, Unit 14 『キクタンReading 4000』 Day 13～Day 16	・動名詞(動詞+to不定詞または動名詞)、分詞(限定用法と叙述用法)について学ぶ。 ・キクタンReading 4000「Day 13 Who Invented Calculus?」「Day 14 Where does innovation come from?」「Day 15 The Birth of Ideas?」「Day 16 The Man Who Invented a Writing System」を通して英文に触れ、読み解く力を養う。	6月24日	8月26日
5	『ユメブン1』 Unit 15～Unit 16 『キクタンReading 4000』 Day 17～Day 20	・分詞(分詞構文の基本、独立分詞構文、with+独立分詞構文)、関係詞(関係代名詞の基本、thatが好まれる場合)について学ぶ。 ・キクタンReading 4000「Day 17 Beethoven」「Day 18 Niel Armstrong」「Day 19 Joan of Arc」「Day 20 My Hero」を通して英文に触れ、読み解く力を養う。	7月22日	8月26日
6	『ユメブン1』 Unit 17, Unit 18 『キクタンReading 4000』 Day 21～Day 24	・関係詞(前置詞+関係代名詞、what、限定用法と非限定用法、関係副詞、複合関係詞)について学ぶ。 ・キクタンReading 4000「Day 21 The Story of the Tomato」「Day 22 The History of Pasta」「Day 23 Baseball through the Ages」「Day 24 Credit Cards」を通して英文に触れ、読み解く力を養う。	7月22日	8月26日

3. スクーリング

- 実施回数: 4回
- 実施内容: リスニングとスピーキングのトレーニングに重点を置き、英語運用能力と実践能力を養う。

4. 教材・参考資料

- 教科書: ユメブン1、キクタンリーディング4000
- 副教材: レポート解説授業、定期授業、映像
- デジタル教材: デジタル教材UMU

科目名:科学と人間生活 単位数:2単位 学年次:1年次 前期

1. 学習の目標

自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

(1)観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。

(2)自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	微生物とその利用	生態系における微生物の役割について考え、微生物の働きを理解する。微生物によってつくられる抗生物質など私たちの暮らしへの微生物の利用について学ぶ。	5月27日	8月26日
2	ヒトの生命現象	人の視覚と光による影響について学ぶ。血糖濃度を調節するしくみを学び、血糖濃度が低下したときの体への影響を考える。体を守る免疫のしくみについて理解する。生命現象のもととなる遺伝子のはたらきを学び、DNAやタンパク質について理解する。	5月27日	8月26日
3	材料とその性質	資源の再利用と3Rについて学ぶ。金属の性質とその利用について理解する。プラスチックの種類について学び、プラスチックの構造について理解する。繊維の種類と性質を学び、天然繊維や合成繊維などを理解する。体に必要な栄養素と脂質、炭水化物、タンパク質の性質について理解する。	6月24日	8月26日
4	光の性質とその利用	光の進み方とその基本的な性質について理解する。光のスペクトルをもとに目に見える光と色の見え方について学ぶ。電磁波や赤外線など目に見えない光とその利用について知る。	6月24日	8月26日
5	熱の性質とその利用	熱運動や熱容量などから熱の性質とその利用について考える。エネルギーの利用について学び、科学技術の在り方について考えるために必要な力を身につける。	7月22日	8月26日
6	地球と太陽	日周運動や潮の満ち干から太陽と月がもたらすリズムについて理解する。太陽が動かす大気と水について学ぶ。	7月22日	8月26日

3. スクーリング

□ 実施回数: 4 回

□ 実施内容: 実験や探求型授業を通して科学的に探求しようとする態度を養う。科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につける。

4. 教材・参考資料

□ 教科書: 東京書籍「科学と人間生活」(科人701)

□ 副教材: レポート解説授業、映像

□ デジタル教材: デジタル教材UMU、東京書籍映像授業

科目名:生物基礎

単位数:2単位

学年次:1年次 後期

1. 学習の目標

日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。

(1)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

(2)生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	1.生物の特徴 1-1.生物の多様性と共通性	生物の多様性について理解し、生物の種と分類・系統について理解を深める。生物のもつ基本的な特徴を理解して、生物の共通性を知る。真核細胞、原核細胞の構造を学習し、細胞の共通性と違いについて理解する。	10月28日	1月27日
2	1.生物の特徴 1-2.生物とエネルギー	ATPが呼吸や光合成などの生体内でエネルギーの受け渡しに必ず関係していることを理解する。酵素の基本的な特徴を理解し、酵素の性質について理解を深める。呼吸と光合成の仕組みについて詳しく学ぶ。	10月28日	1月27日
3	2.遺伝子とそのはたらき 2-1.遺伝情報とDNA	遺伝情報には様々な形質に対応する情報が含まれ、同じ生物間でもわずかな形質の違いが生じることを理解する。DNAの構造にある規則性やDNAの複製と分配について学ぶ。	11月25日	1月27日
4	2.遺伝情報とDNA 2-2.遺伝情報とタンパク質の合成	タンパク質とは何かを理解する。タンパク質と遺伝情報について学ぶ。細胞ごとに異なる遺伝子が発現することで多種の細胞に分化することを理解する。遺伝子の発現について学ぶ。	11月25日	1月27日
5	3.ヒトの体の調節	体内環境をつくる体液や体内環境を維持する仕組みについて学ぶ。体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見出す。内分泌系による情報伝達を関係するホルモンとともに理解する。血糖濃度を調節する仕組みについて理解する。ヒトは免疫のしくみによって病原体から体を防御していることを理解する。予防接種やワクチンから免疫の応用について学びを深める。アレルギーや自己免疫疾患など免疫とさまざまな疾患について考え、整理する。	12月23日	1月27日
6	4.生物の多様性と生態系	様々な環境に多様な植物が生育していることに気づく。植生の遷移の要因について資料を参考にしながら理解する。遷移とバイオームについて学ぶ。食物網について理解し、生態系における生物の多様性を知る。生態系において生物どうしがかかわりあっていることを知る。生態系と人為的攪乱について知る。生態系の保全にはそれぞれの立場からの努力や協力が必要なことを理解する。	12月23日	1月27日

3. スクーリング

□ 実施回数:4回

□ 実施内容:実験や探求型授業を通して科学的に探求しようとする態度を養う。科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につける。

4. 教材・参考資料

□ 教科書:東京書籍『生物基礎』(生基702)

□ 副教材:レポート解説授業、映像

□ デジタル教材:デジタル教材UMU、東京書籍映像授業

科目名:生物 単位数:4単位 学年次:3年次 前期

1. 学習の目標

日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	1生物の進化 1-1 生命の起源と細胞の進化	共通性と多様性をつなぐ進化について学ぶ。生命の誕生から生物の多様性と地球環境の変化について考える。	5月27日	8月26日
2	1生物の進化 1-2 遺伝子の変化と進化のしくみ	アサガオやショウジョウバエから遺伝的変異と多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖について学ぶ。さらに遺伝子レベルでみる進化や種分化についても知る。	5月27日	8月26日
3	1生物の進化 1-3生物の系統と進化	生物の進化の道筋から生物の系統分類について学ぶ。霊長類の特徴、類人猿とヒトの違いから人類の出現と変遷について理解する。	5月27日	8月26日
4	2生命現象と物質 2-1 細胞と物質	細胞を構成する成分について知る。生体膜のはたらきと構造について学ぶ。エネルギー変換やタンパク質合成などに関わる細胞の構造を理解する。タンパク質の構造について学び、酵素としてはたらくタンパク質について知る。生命現象にタンパク質がどのように関わっているかを考える。	5月27日	8月26日
5	2生命現象と物質 2-2 代謝とエネルギー	呼吸、発酵、光合成 について学び、生物がエネルギーを獲得し、利用する仕組みを考える。	6月24日	8月26日
6	3遺伝情報の発現と発生 3-1 遺伝情報とその発現	DNAの構造やDNAの複製について学び、遺伝情報の流れを理解する。さらに、RNAと転写・翻訳のしくみからタンパク質合成について学ぶ。突然変異とDNA多型から遺伝情報の変化について理解する。	6月24日	8月26日
7	3遺伝情報の発現と発生 3-2 発生と遺伝子発現	原核・真核生物の遺伝子発現の調節について学ぶ。選択的遺伝子発現と細胞分化について理解する。動物の発生から胚の細胞の発生運命と遺伝子発現、さらに調節遺伝子の発現について知る。	6月24日	8月26日
8	3遺伝情報の発現と発生 3-3遺伝子を扱う技術	塩基配列を解読する技術や遺伝子組換え技術の利用について学び、遺伝子や細胞を扱う技術の課題を養う。	6月24日	8月26日
9	4生物の環境応答 4-1 動物の刺激の受容と反応 4-2 動物の行動	刺激の受容から反応への流れについて学ぶ。ニューロンの興奮から興奮の伝導・伝達について知る。視細胞から刺激の受容と感覚を学ぶ。筋肉の構造や筋収縮のコントロールから効果器について知る。動物の行動や刺激の受容と行動学習のしくみについて理解する。	7月22日	8月26日
10	4生物の環境応答 4-3 植物の環境応答	被子植物の生殖と発生、植物の一生の出来事と環境の影響について理解する。植物ホルモンと光受容体について学ぶ。光や温度による発芽の調節・茎や根の成長について考える。気孔の開閉のしくみと環境変化について理解する。花芽形成と環境要因の影響を知る。葉の老化と脱落のしくみについて考える。	7月22日	8月26日
11	5生態と環境 5-1個体群と生物群集	生物の個体数の変動や個体群の構造と成長について学ぶ。群れや縄張りによる個体間の相互作用について学ぶ。さらに生物群集の成り立ちと多種の共存についても知る。	7月22日	8月26日
12	5生態と環境 5-2 生態系の物質生産と物質循環 5-3 生態系と人間生活	生態系全体のエネルギーの流れについて理解する。生産者や森林生態系の物質収支について意味と関係を理解する。絶滅速度について学び、人間は自然とどう付き合っていけばよいか考える。	7月22日	8月26日

3. スクーリング

□ 実施回数: 7 回

□ 実施内容: 実験や探求型授業を通して科学的に探求しようとする態度を養う。科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につける。

4. 教材・参考資料

□ 教科書: 東京書籍「生物」(生物701)

□ 副教材: レポート解説授業、映像

□ デジタル教材: デジタル教材UMU、東京書籍映像授業

科目名:物理基礎

単位数:2単位

学年次:1年次 後期

1. 学習の目標

自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身に付け、観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付ける。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	1章 直線運動の世界	運動の表し方や変位と速度について学び、等速直線運動について理解する。合成速度と相対速度の求め方について理解する。速度が変わる運動、自由落下運動、鉛直投射、水平投射の運動の特徴について学び、式の扱い方を深める。	10月28日	1月27日
2	2章 力と運動の法則	力とつり合いを学び、力の合成と分解について理解する。さらに垂直抗力と弾性力について理解を深める。慣性の法則・運動の変化と力作用・反作用の法則について力の関係を意識しながら学ぶ。動摩擦力や静止摩擦力とその性質について知る。空気の抵抗力や水圧と浮力の関係について学ぶ。	10月28日	1月27日
3	3章 力学的エネルギー	仕事の原理と仕事率の求め方について理解する。運動エネルギーと位置エネルギーを考え、力学的エネルギーが保存されることを理解する。さらにいろいろな運動でみられる力学的エネルギーについて理解を深める。	11月25日	1月27日
4	4章 熱	温度と熱の関係について学ぶ。物質の三態と物質の分子の状態を関連付けて理解する。熱の移動と熱量の保存について学ぶ。	11月25日	1月27日
5	5章 波	波とは何かについて理解し、波には横波と縦波があることを知る。さらに波の重ね合わせ・定在波・波の反射を学ぶ。音の性質や弦の固有振動について理解する。管楽器の例から気柱の固有振動について学ぶ。	12月23日	1月27日
6	6章 電気	動いていない電気と動いている電気について知る。電流と電気抵抗・直列接続と並列接続について学ぶ。電力と電力量を知り、電流が作る磁場について学ぶ。電磁誘導の仕組みから発電機の仕組みについて理解を深める。直流と交流の違いを知る。電磁波とは何かを理解し、どのように利用されているのかを学ぶ。	12月23日	1月27日

3. スクーリング

□ 実施回数:4回

□ 実施内容:実験や探求型授業を通して科学的に探求しようとする態度を養う。科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につける。

4. 教材・参考資料

□ 教科書:東京書籍『物理基礎』(物基702)

□ 副教材:レポート解説授業、映像

□ デジタル教材:デジタル教材UMU、東京書籍映像授業

科目名：物理

単位数：4単位

学年次：3年次 前期

1. 学習の目標

物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する技能を身につけるようにする。

(1)自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身に付ける。

(2)観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付ける。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	1.さまざまな運動 1-1.平面内の運動 1-2.剛体のつり合い	平面内の運動を表す物理量について理解する。平面内の運動における合成速度や相対速度の表し方について学ぶ。水平投射や斜方投射された物体の運動を理解する。剛体がつり合うときの条件や剛体の重心について理解する。	5月27日	8月26日
2	1.さまざまな運動 1-3.運動量	力積と運動量の関係について考え直線上や平面内で運動する物体の運動量について理解する。床や壁に物体が衝突するときの反発係数について学ぶ。物体の衝突における反発係数と運動量や力学的エネルギーの関係について学ぶ。	5月27日	8月26日
3	1.さまざまな運動 1-4.円運動 1-5.単振動	等速円運動の表し方について理解する。単振動とは何かを学び、単振動の周期の表し方や単振動のエネルギーの表し方について理解する。	5月27日	8月26日
4	1.さまざまな運動 1-6.万有引力	惑星の運動にどのような規則性があるかを考え、ケプラーの法則について理解する。万有引力の法則について学び、第2宇宙速度について理解する。	5月27日	8月26日
5	1.さまざまな運動 1-7.気体分子の運動	ボイルシャルルの法則から気体の性質について理解する。理想気体の状態方程式について理解する。熱力学第1法則について学ぶ。気体の温度と熱の関係について理解する。	6月24日	8月26日
6	2.波 2-1.波の伝わり方 2-2.音	反射の法則、屈折の法則について学ぶ。ホイヘンスの原理について理解する。波の干渉条件について学ぶ。音の性質を理解する。ドップラー効果について学ぶ。	6月24日	8月26日
7	2.波 2-3.光	ものの色が見えるしくみについて理解する。光の反射、屈折について理解し、現象を理解する。ヤングの実験とはどのような実験かを知る。回折格子とはどのようなものを知り、薄膜や空気層による光の干渉条件について学ぶ。	6月24日	8月26日
8	3.電気と磁気 3-1.電場と電位	静電気の現象について考え、クーロンの法則を知る。点電荷がつくる電場について理解し、複数の点電荷がある場合の電場の表し方を理解する。電気力線と電位の定義について学ぶ。点電荷のまわりの電位について知る。電場の中の導体と不導体のようすについて理解する。コンデンサーのはたらきを学ぶ。	6月24日	8月26日
9	3.電気と磁気 3-2.電流 3-3.電場と磁場	導線の電気抵抗や電流からジュール熱について自由電子の運動の視点から理解する。キルヒホッフの法則について学ぶ。電池の起電力と内部抵抗について知る。ホイートストンブリッジ・コンデンサーを含む回路についても学ぶ。	7月22日	8月26日
10	3.電気と磁気 3-4.電磁誘導と電磁波	磁極や磁力の性質について理解し、磁場の重ね合わせの原理を知る。電流がつくる磁場について学び、電流が磁場から受ける力についても知る。ローレンツ力について学ぶ。	7月22日	8月26日
11	4.原子 4-1.電子と光	陰極線、波動性を理解する。光の振動数と仕事関数について学ぶ。X線の種類と特徴について理解し、ブラッグの条件について学ぶ。コンプトン効果について理解を深め粒子が波動性を持つことを理解する。量子力学について学ぶ。	7月22日	8月26日
12	4.原子 4-2.原子と原子核	ボーアの仮説における量子条件と振動数条件について学ぶ。水素原子のスペクトルについて理解し、原子番号、質量数、原子量について学ぶ。原子核の崩壊から放射性崩壊とは何かを理解する。エネルギーと質量の等価性について学ぶ。核融合や核分裂について理解する。	7月22日	8月26日

3. スクーリング

□ 実施回数：7回

□ 実施内容：実験や探求型授業を通して科学的に探求しようとする態度を養う。科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につける。

4. 教材・参考資料

□ 教科書：東京書籍『物理』（物理701）

□ 副教材：レポート解説授業、映像

□ デジタル教材：デジタル教材UMU、東京書籍映像授業

1. 学習の目標

物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察、実験を行うことを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	物質の成分と構成元素	身の回りのものがどのような物質から構成されているかを考える。炎色反応などから物質の構成元素について学ぶ。	5月27日	8月26日
2	原子の構造と元素の周期表	原子の大きさや構造について知る。電子配置と周期表について理解し、元素の性質の規則性について知る。	5月27日	8月26日
3	化学結合	イオンとイオン結合の形成について理解する。分子とは何かを学び、共有結合について理解する。金属の性質や金属結合について学ぶ。化学結合の種類から物質の大まかな性質について分類し考察する。	6月24日	8月26日
4	物質量と化学反応式	原子量・分子量・式量のそれぞれが表す値を理解する。物質量を中心とした量的関係を理解する。モル濃度における溶液の濃度の表し方を理解する。化学反応の表し方や化学反応式を表す量的関係を学ぶ。	6月24日	8月26日
5	酸と塩基	酸と塩基の性質について理解する。水素イオン濃度とpHの関係を知る。酸と塩基が完全に中和するときの変化を化学反応式で理解する。また、塩の生成について知る。中和滴定に用いる器具の使い方を学び、実験操作を理解する。	7月22日	8月26日
6	酸化還元反応	酸化と還元は常に同時に起こることを知る。酸化剤と還元剤について学ぶ。金属の酸化還元反応から金属の反応性の違いを知る。電池の仕組みなどから酸化還元反応の応用について学ぶ。	7月22日	8月26日

3. スクーリング

□ 実施回数：4回

□ 実施内容：実験や探求型授業を通して科学的に探求しようとする態度を養う。科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につける。

4. 教材・参考資料

□ 教科書：東京書籍『化学基礎』（化基702）

□ 副教材：レポート解説授業、映像

□ デジタル教材：デジタル教材UMU、東京書籍映像授業

1. 学習の目標

化学的な事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

(1)化学的な事物・現象を観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

(2)日常生活や社会の化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	1.物質の状態 1-1.物質の状態 1-2.気体の性質	物質の三態や気体・液体間の状態変化について学ぶ。気体の性質や振る舞いを理解し、気体の状態方程式の意味を把握するとともに、基本的な場合についてその式を用いて計算ができるように指導する。	10月28日	1月27日
2	1.物質の状態 1-3.溶液の性質 1-4.固体の構造	溶解や希薄溶液の性質について学ぶとともに、コロイドの特徴を理解する。さらに、結晶の種類や構造について学び、金属結晶、イオン結晶、分子結晶、および共有結合の結晶の構造や性質を把握できるように指導する。	10月28日	1月27日
3	2.化学反応とエネルギー 2-1.化学反応と熱・光 2-2.電池と電気分解	反応に伴うエンタルピー変化について学び、ヘスの法則の意味を理解する。さらに、光とエネルギーの関係について学習し、電池や電気分解の原理を理解して、基本的な計算ができるように指導する。	10月28日	1月27日
4	3.化学反応の速さと平衡 3-1.化学反応の速さ	反応の速さや、それに影響を与える条件について学ぶ。さらに、反応のしくみを理解し、反応速度を求めるための基礎的な計算ができるように指導する。	10月28日	1月27日
5	3.化学反応の速さと平衡 3-2.化学平衡 3-3.化学平衡	化学平衡の概念を学び、平衡の移動について理解する。また、化学平衡における変数の変化や平衡定数の関係を分析し、平衡の移動が系に与える影響を考察する力を養う。	11月25日	1月27日
6	4.無機物質 4-1.周期表と元素 4-2.非金属元素の単体と化合物	周期表と元素の分類を学び、元素の性質や周期的な変化を理解する。さらに、水素や貴ガス、酸素、ハロゲン、硫黄、窒素・リン、炭素・ケイ素とその化合物について学習し、それぞれの性質や反応の特徴を把握する。	11月25日	1月27日
7	4.無機物質 4-3.典型金属元素の単体と化合物	アルカリ金属およびアルカリ土類金属とその化合物の性質や反応について学ぶ。さらに、1・2族以外の典型金属元素とその化合物の特徴を理解し、金属元素の性質や化合物の生成、反応についての知識を深める。	11月25日	1月27日
8	4.無機物質 4-4.遷移元素の単体と化合物 4-5.金属イオンの分離と確認	遷移元素の特徴を学び、遷移元素とその化合物や金属イオンが検出できる反応について理解する。さらに金属イオンの系統分離と確認を行う力を養う。	11月25日	1月27日
9	5.有機化合物 5-1.有機化合物の特徴と構造 5-2.炭化水素	有機化合物の特徴を知り、有機化合物の構造式の決定について学ぶ。飽和炭化水素と不飽和炭化水素について学び性質などを理解する。	12月23日	1月27日
10	5.有機化合物 5-3.アルコールと関連化合物	アルコールとエーテル、アルデヒドとケトン、カルボン酸の性質や反応について学ぶ。さらに、エステル・油脂・セッケンの構造や反応についても学び、理解を深める。	12月23日	1月27日
11	5.有機化合物 5-4.芳香族化合物	芳香族炭化水素の性質や反応について知る。フェノールと芳香族カルボン酸の構造と特徴を理解する。芳香族アミンとアゾ化合物がどのような性質を示すのか推察する力を養う。さらに、芳香族化合物の分離について理解し、分離手順をまとめて特徴を整理する。	12月23日	1月27日
12	6.高分子化合物 7.化学が果たす役割	高分子化合物の分類と特徴について学ぶ。単糖類と二糖類、多糖類について学び、糖の構造や分類について理解する。アミノ酸やタンパク質の性質と反応について知る。合成繊維や合成樹脂とは何かについて理解する。ゴムの利用と種類について学ぶ。化学的性質の利用と工業的製法について学び、未来に向けて化学がどうあるべきか考察する力を養う。	12月23日	1月27日

3. スクーリング

□ 実施回数：7回

□ 実施内容：実験や探求型授業を通して科学的に探求しようとする態度を養う。科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につける。

4. 教材・参考資料

□ 教科書：東京書籍『化学Vol.1理論編』(化学701)、東京書籍『化学Vol.2物質編』(化学702)

□ 副教材：レポート解説授業、映像

□ デジタル教材：デジタル教材UMU、東京書籍映像授業

科目名:地学基礎

単位数:2単位

学年次:2年次 前期

1. 学習の目標

地学基礎は私達の生活の場である自然環境に関係する科目である。物理的な要素、化学的な要素、生物学的な要素が組み合わさった自然環境がどのような仕組みになっているのかを学ぶ。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	1.私たちの大地 1-1.大地とその動き 1-2.火山活動と地震	地球の形と大きさ、構造を理解するとともに大地とその動きについて知る。火山噴火の多様性や火成岩について学ぶ。火山活動と地震の関係について理解する。	5月27日	8月26日
2	2.私たちの空と海 2-1.地球の熱収支 2-2.大気と海水の運動	地球大気の構造について大気の組成や大気圧などから学ぶ。対流圏、成層圏、中間圏・熱圏などで起こる現象について知り、地球の大気で起こる現象について理解する。	5月27日	8月26日
3	3.私たちの宇宙の誕生 3-1.宇宙の構造と進化	宇宙の誕生と宇宙の姿についてビックバンと銀河の構造を理解し、学ぶ。太陽系の誕生について太陽と太陽系を構成する惑星は天の川銀河に漂っていた星間物質が集まって誕生したことを理解する。太陽系の特徴や構成、さらに地球の特徴について学ぶ。	6月24日	8月26日
4	4.私たちの地球の歴史 4-1.地層と化石の観察 4-2.古生物の変遷と地球環境	地層の形成について、地層のでき方や堆積物の形成のしくみを理解する。地層にみられる化石からわかることを整理し、理解する。地球の形成や初期の地球の様子について理解する。先カンブリア時代、古生代、中生代、新生代について生物の多様性に着目しながら学ぶ。人類の進化の道筋について理解する。地球環境の変化による生物の変遷について推察する。	6月24日	8月26日
5	5.地球に生きる私たち1 5-1.日本の自然の恵みと防災	日本の自然環境の特徴について地理的特徴や地形に着目しながら学ぶ。火山や海など日本の自然の恵みについて知る。気象災害や地震災害、火山災害について知り、災害が起こった際にどのようにすれば被害を減らすことができるか考える力を養う。	7月22日	8月26日
6	5.地球に生きる私たち2 5-1.地球環境の考え方 5-2.自然環境の変動 5-3.これからの地球環境	自然現象は、時間と空間のスケールで見ることができることを理解する。炭素の循環システムとフィードバックのシステムについて学ぶ。自然環境の変化について時間スケールとともに理解する。人間活動が自然環境にもたらす影響について学ぶ。気候変動に関する世界の取り組みについて理解する。持続可能な発展のために私たちにできることを考える力を養う。	7月22日	8月26日

3. スクーリング

□ 実施回数:4回

□ 実施内容:実験や探求型授業を通して科学的に探求しようとする態度を養う。科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につける。

4. 教材・参考資料

□ 教科書:東京書籍『地学基礎』(地基701)

□ 副教材:レポート解説授業、映像

□ デジタル教材:デジタル教材UMU、東京書籍映像授業

科目名: 数学 I 単位数: 3単位 学年次: 1年次 前期

1. 学習の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
- (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	1 数と式 1-1 文字と式	文字を使った式、多項式と単項式、多項式の計算、乗法公式、因数分解、展開・因数分解の工夫と利用を学び、高校数学の基礎を養う。	5月27日	8月26日
2	1 数と式 1-2 実数	平方根、根号をふくむ式の計算、数の分類、分数と小数についてを学習する。	5月27日	8月26日
3	1 数と式 1-3 方程式と不等式	1次方程式、不等式、不等式の性質、不等式の解、不等式の解き方を学ぶ。また、2次方程式とその解き方、2次方程式の解の公式についての理解を深める。	5月27日	8月26日
4	2 2次関数 2-1 2次関数とそのグラフ	関数、1次関数とそのグラフ、2次関数とそのグラフを学び、グラフの平行移動や2次関数のグラフを活用する発展的な問題に取り組む。	6月24日	8月26日
5	2 2次関数 2-2 2次関数の値の変化	2次関数の最大値・最小値、2次関数のグラフと2次方程式を学ぶ。さらに、いろいろな2次不等式の解き方についても学習する。	6月24日	8月26日
6	3 三角比 3-1 鋭角の三角比	三角形、タンジェント、サインとコサイン、三角比の利用、三角形の相互関係などを学び、三角比の考え方を理解する。	6月24日	8月26日
7	3 三角比 3-2 三角比の応用	三角形の面積、正弦定理、余弦定理を学習するとともに、鈍角の三角比、三角比の相互関係、鈍角の三角比の利用などの発展的な内容についても理解を深める。	7月22日	8月26日
8	4 データの分析 4-1 データの分析	データにもとづいた問題解決の進め方、データの特長の調べ方、代表値、四分位数と箱ひげ図、分散と標準偏差、相関関係、相関係数、データにもとづく考え方を学ぶ。	7月22日	8月26日
9	5 集合と論証 5-1 集合と論証	集合、命題と集合、命題と証明について学習する。	7月22日	8月26日

3. スクーリング

- 実施回数: 1 回
- 実施内容: 数学に関する課題に対して、その解決方法をグループワークを通して考える。
課題解決型学習を通して数学的思考力・論理的思考力を身に着ける。

4. 教材・参考資料

- 教科書: 東京書籍(新数学 I 704)
- 副教材: レポート解説授業、映像
- デジタル教材: デジタル教材UMU、東京書籍映像授業

科目名: 数学Ⅱ 単位数: 3単位 学年次: 2年次 前期

1. 学習の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
- (3) 数学のよさを認識し数学をしようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	1 方程式・式と証明 1-1 式の計算 1-2 2次方程式	3次の乗法公式と因数分解、負の数の平方根について学ぶ	5月27日	8月26日
2	1 方程式・式と証明 1-3 高次方程式 1-4 式と証明	整式の除法、因数定理、高次方程式、等式の証明について学ぶ	5月27日	8月26日
3	2 図形と方程式 2-1 座標と直線の方程式	2直線の距離、分点の座標、2直線の関係について学ぶ	5月27日	8月26日
4	2 図形と方程式 2-2 円の方程式 2-3 軌跡と領域	円の方程式、円と直線、不等式の表す領域について学ぶ	5月27日	8月26日
5	3 三角関数 3-1 三角関数	一般角、180以上または負の角における三角比、三角関数の相互関係について学ぶ	6月24日	8月26日
6	3 三角関数 3-1 三角関数	三角関数のグラフ、性質について学ぶ	6月24日	8月26日
7	3 三角関数 3-2 加法定理	加法定理の意味と使い方、2倍角、合成、弧度法について学ぶ	6月24日	8月26日
8	4 指数関数・対数関数 4-1 指数関数	指数の拡張、累乗根、グラフについて学ぶ	6月24日	8月26日
9	4 指数関数・対数関数 4-2 対数関数	対数の性質、グラフ、常用対数について学ぶ	7月22日	8月26日
10	5 微分と積分 5-1 微分係数と導関数	平均変化率、極限値の定義、導関数、接線について学ぶ	7月22日	8月26日
11	5 微分と積分 5-2 導関数の応用	関数の極大・極小、最大・最小について学ぶ	7月22日	8月26日
12	5 微分と積分 5-3 積分	不定積分、定積分、面積について学ぶ	7月22日	8月26日

3. スクーリング

□ 実施回数: 2回

□ 実施内容: 数学に関する課題に対して、その解決方法をグループワークを通して考える。
課題解決型学習を通して数学的思考力・論理的思考力を身に着ける。

4. 教材・参考資料

□ 教科書: 東京書籍(新数学Ⅱ 717)

□ 副教材: レポート解説授業、映像

□ デジタル教材: デジタル教材UMU、東京書籍映像授業

科目名:数学Ⅲ 単位数:3単位 学年次:3年次 前期

1. 学習の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。

(3) 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	1 関数と極限 1-1 関数	簡単な分数関数と無理関数の値の変化やグラフの特徴について学ぶ。合成関数や逆関数の意味を理解し、簡単な場合についてそれらを求めることができるように指導する。	5月27日	8月26日
2	1 関数と極限 1-2 数列の極限	数列の極限について理解し、数列 $\{r^n\}$ の極限などを基に簡単な数列の極限を求めることを学ぶ。無限級数の収束、発散について理解し、無限等比級数などの簡単な無限級数の和を求めることを学ぶ。	5月27日	8月26日
3	1 関数と極限 1-3 関数と極限	関数の値の極限・関数の連続性について学ぶ。	5月27日	8月26日
4	2 微分法 2-1 微分法	微分可能性、関数の積及び商の導関数について理解し、関数の和、差、積及び商の導関数を求めることを学ぶ。合成関数の導関数、三角関数、指数関数及び対数関数について理解し、それらを求めることを学ぶ。	6月24日	8月26日
5	3 微分の応用 3-1 関数の増減	導関数を用いて、いろいろな曲線の接線の方程式を求めたり、いろいろな関数の値の増減、極大・極小、グラフの凹凸などを調べ、グラフの概形をかいたりすることができるよう学習する。	6月24日	8月26日
6	3 微分の応用 3-2 微分のいろいろな応用	いろいろな関数の値の増減、極大・極小、グラフの凹凸などを調べ、グラフの概形をかくことにより、最大値・最小値を求めたり、方程式や不等式に応用する力をつける。また、直線上の点の運動や平面上の点の運動について、速度及び加速度と点の位置を表す関数の導関数との関係を理解する。	6月24日	8月26日
7	4 積分とその応用 4-1 不定積分	不定積分の基本的な性質についての理解を深め、それらを用いて不定積分が計算できる。置換積分法及び部分積分法について理解し、簡単な場合について、それらを用いて不定積分を求めることを学ぶ。	7月22日	8月26日
8	4 積分とその応用 4-2 定積分	定積分の基本的な性質についての理解を深め、それらを用いて定積分が計算できる。置換積分法及び部分積分法について理解し、簡単な場合について、それらを用いて定積分を求めることを学ぶ。	7月22日	8月26日
9	4 積分とその応用 4-3 面積・体積・長さ	定積分を利用して、いろいろな曲線で囲まれた図形の面積や立体の体積及び曲線の長さなどを求めることを学ぶ。	7月22日	8月26日

3. スクーリング

□ 実施回数: 2 回

□ 実施内容: 数学に関する課題に対して、その解決方法をグループワークを通して考える。
課題解決型学習を通して数学的思考力・論理的思考力を身に着ける。

4. 教材・参考資料

□ 教科書: 東京書籍(数Ⅲ 702)

□ 副教材: レポート解説授業、映像

□ デジタル教材: デジタル教材UMU、東京書籍映像授業

1. 学習の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2)図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。
- (3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	1 場合の数と確率 1-1 場合の数	部分集合、全体集合、補集合、共通部分、和集合などの集合の表し方や順列、組合せの意味や性質を理解し、その総数の求め方を学ぶ。	10月28日	1月27日
2	1 場合の数と確率 1-2 確率	試行と事象、事象の確率について学ぶ。 また、余事象や独立な試行、反復試行、条件付き確率、期待値について理解し、求め方や、活用の仕方を学ぶ。	10月28日	1月27日
3	2 図形の性質 2-1 平面図形の基礎 2-2 三角形の性質	多角形の内角、外角の性質や三角形の合同条件、相似条件を理解し、辺の長さや角の大きさの求め方を学ぶ。	11月25日	1月27日
4	2 図形の性質 2-3 円の性質 2-4 空間図形	三角形の比や重心、内心、外心、の性質を利用した、線分の長さや角の大きさの求め方を学ぶ。多面体、正多面体やオイラーの多面体定理を学ぶ。	11月25日	1月27日
5	3 数学と人間活動 3-1 数や位置を表す 3-2 数のつくりを調べる	古代の人々の記数法や漢数字による記数法を学ぶ。10進法、2進法の数の表し方のしくみを学び、変換の仕方を学ぶ。数、倍数、素数、素因数分解などの整数に関する基本的概念を学ぶ。	12月23日	1月27日
6	3 数学と人間活動 3-3 はかる 3-4 数学で遊ぶ	長さや面積の単位を調べ、測量について学ぶ。魔法陣やパズルを論理的に考え、解くことができる。	12月23日	1月27日

3. スクーリング

- 実施回数: 1 回
- 実施内容: 数学に関する課題に対して、その解決方法をグループワークを通して考える。
課題解決型学習を通して数学的思考力・論理的思考力を身に着ける。

4. 教材・参考資料

- 教科書: 東京書籍(新数学A 704)
- 副教材: レポート解説授業、映像
- デジタル教材: デジタル教材UMU、東京書籍映像授業

科目名:数学B 単位数:2単位 学年次:2年次 後期

1. 学習の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。

(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	1 数列 1-1 数列	数列の概念及び等差数列や等比数列について理解し、一般項や和の求め方を学ぶ。	10月28日	1月27日
2	1 数列 1-2 いろいろな数列	記号 Σ の意味と性質を理解し、 Σ を用いた和の求め方を学ぶ。また、階差数列や数列の和から一般項を求め方や、群数列について学ぶ。	10月28日	1月27日
3	1 数列 1-3 漸化式と数学的帰納法	数学的帰納法について理解し、等式などの証明への利用の仕方を学ぶ。	11月25日	1月27日
4	2 統計的な推測 2-1 標本調査 2-2 確率分布	標本調査の意義や確率変数、確率分布を理解し、期待値や分散、標準偏差の求め方を学ぶ。	11月25日	1月27日
5	2 統計的な推測 2-3 正規分布	連続分布とその代表の正規分布について理解し、正規分布に従う確率変数の確率を求め方を学ぶ。	12月23日	1月27日
6	2 統計的な推測 2-4 統計的な推測	母平均、母分散、母標準偏差や標本平均の分布、分散などを求め方を学ぶ。また、標本平均の分布と正規分布の関係を理解し、標本平均の分布から母平均を推定する方法を学ぶ。	12月23日	1月27日

3. スクーリング

□ 実施回数: 1 回

□ 実施内容: 数学に関する課題に対して、その解決方法をグループワークを通して考える。
課題解決型学習を通して数学的思考力・論理的思考力を身に着ける。

4. 教材・参考資料

□ 教科書: 東京書籍(数学B 702)

□ 副教材: レポート解説授業、映像

□ デジタル教材: デジタル教材UMU、東京書籍映像授業

科目名:数学C 単位数:2単位 学年次:2年次 後期

1. 学習の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2) 大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	1 ベクトル 1-1 平面上のベクトル	平面上のベクトル、ベクトルの分解・成分・内積について学ぶ	10月28日	1月27日
2	1 ベクトル 1-2 ベクトルの応用 1-3 空間におけるベクトル	位置ベクトル、ベクトル方程式、空間のベクトル、空間座標と空間のベクトル、空間のベクトルの内積、位置ベクトルと空間の図形について学ぶ	10月28日	1月27日
3	2 平面上の曲線 2-1 2次曲線	放物線、楕円、双曲線、2次曲線と平行移動・直線・離心率について学ぶ	11月25日	1月27日
4	2 平面上の曲線 2-2 媒介変数表示と極座標	曲線の媒介変数表示、極座標と極方程式について学ぶ	11月25日	1月27日
5	3 複素数平面 3-1 複素数平面	複素数平面、複素数の極形式、ド・モアブルの定理について学ぶ	12月23日	1月27日
6	3 複素数平面 3-2 図形への応用	2直線のなす角、複素数平面上の図形について学ぶ	12月23日	1月27日

3. スクーリング

□ 実施回数: 1 回

□ 実施内容: 数学に関する課題に対して、その解決方法をグループワークを通して考える。
課題解決型学習を通して数学的思考力・論理的思考力を身に着ける。

4. 教材・参考資料

□ 教科書: 東京書籍(数学C 702)

□ 副教材: レポート解説授業、映像

□ デジタル教材: デジタル教材UMU、東京書籍映像授業

科目名：音楽Ⅰ

単位数：2単位

学年次：2年次 後期

1. 学習の目標

- (1) さまざまな音楽活動をする上で必要な基礎的な音楽の能力を高め、創意工夫を生かした音楽表現ができるとともに、文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりなどを踏まえて、音楽について考える力を身につける。
- (2) 日本や世界の音楽に触れることで、さまざまな価値観をもつ音楽に対しても、広い視点からそれらの音楽のよさを感じ取り、音楽の多様性について理解を深める。
- (3) 音楽のさまざまな活動を通して感性を豊かに育み、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽文化に親しむ。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	『この道』『腹式呼吸の練習』『発声の練習』『音楽って何だろう』	日本語を美しく歌うため、鼻濁音やs音、t音などの子音に注意して歌唱する。また、歌詞の内容や曲の背景を理解して、情景を思い描いて詩情に合った歌唱表現を工夫する。	10月28日	1月27日
2	『音程と音階について』『調について』『ギターは世界をめぐる』『クラシック・ギターを弾こう』『用語と記号』	音程(音同士の高さの隔たり)と音階(短音階・長音階)の性質を知る。 長調の代表的な作品を聴き、始まる音によって音階の気分が変わることに気づく。 ギターの起源と伝播、グローバル化とローカル化について知り、クラシック・ギターの音色や表現の豊かさを味わう。	10月28日	1月27日
3	独語『野ばら』 仏語『オーシャンゼリゼ』伊語『カーロミオベン』英語『アメージング グレース』	外国語の芸術歌曲を聴き、それぞれの呼吸法や発声、発音の特徴を捉え、リズムや旋律との関わりを理解し、歌詞の内容と曲の雰囲気合った表現の工夫を考える。	11月25日	1月27日
4	『中世・ルネサンス』『元気に跳ね回るバロック音楽』『ソナタ形式と古典派音楽』『古代ギリシャ』	ヨーロッパの中世以降の音楽を体験し、それぞれの時代の音楽のあり方について考え、キリスト教と西洋音楽の関係や様々な音楽の形式について理解を深める。	11月25日	1月27日
5	『二極分化するロマン派音楽』『素晴らしきオペラの世界』『帝国主義と民族主義の音楽』『現代のクラシック音楽』	小規模なピアノ曲と大規模な管弦楽曲の対比を通してロマン派について理解を深め、オペラというジャンルについて知るとともに、19世紀末から20世紀初頭における帝国主義と民族主義と音楽の関係について理解を深める。また、現代の「クラシック」音楽の創作を通して、調性や規則的なリズムの破壊について理解を深める。	12月23日	1月27日
6	『日本の劇音楽』『わらべうた・民謡』『日本の民謡を歌う』『日本音楽の鑑賞』	能、文楽、歌舞伎について、その成り立ちとその特徴、用いる楽器や音楽の種類を知る。 地域に伝わる「わらべうた」「民謡」の音階やリズム、声の使い方の特徴、背景にある文化を知る。	12月23日	1月27日

3. スクーリング

- 実施回数：4回
- 実施内容：バロック、古典派、ロマン派、近現代の代表曲、さまざまな民族音楽の鑑賞やグループワークを通して、音楽文化に親しむ姿勢を養う。

4. 教材・参考資料

- 教科書：高校生の音楽1(27-教芸・音Ⅰ-702)
- 副教材：レポート解説授業、映像
- デジタル教材：デジタル教材UMU、NHK映像授業

科目名：美術 I

単位数：2単位

学年次：2年次 後期

1. 学習の目標

- (1)造形的な視点について理解を深めるとともに意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表現する力を養う。
(2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働き等について考えて主題を生成し創造的に発想し構想を練り、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。
(3)主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み生涯にわたり美術を愛好する心情を育み、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造する態度を養う。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	絵画：身近なものを描く	新たな視点で見つけた形や色のよさや美しさ、愛着などを基に、存在感や雰囲気をつ捉えて描く技法を学ぶ。	10月28日	1月27日
2	デザイン：色彩の知識	色について様々な視点から学び、色彩への理解を深め、活用する力を養う。	10月28日	1月27日
3	絵画：風景を描く	色を重ねたり、にじみの効果などを生かし、透明水彩で風景を描く技法を学ぶ。	11月25日	1月27日
4	デザイン：レタリング	書体の特徴や違いを知り、自分の意図に沿って書体を選び、使いこなす力を養う。	11月25日	1月27日
5	映像メディア表現：アニメーションの技法	止まったものが動いて見える原理を理解し、表現に生かす技法を学ぶ。	12月23日	1月27日
6	デザイン：デザインのメソッド	りんごを題材に観察と想像を繰り返し、デザインの発想に大切な「気づき」を学ぶ。	12月23日	1月27日

3. スクーリング

- 実施回数：4回
- 実施内容：身近な素材を活用した作品制作を通し、用具の扱い方など基本的な制作技法を学ぶとともに、色彩構成力、連続した模様によるデザイン力を養う。

4. 教材・参考資料

- 教科書：高校美術(116-日文・美 I -703)
- 副教材：レポート解説授業、映像
- デジタル教材：デジタル教材UMU、日本文教出版映像授業

科目名:情報 I

単位数:2単位

学年次:1年次 前期

1. 学習の目標

情報を適切に活用するために必要な、コンピュータや情報通信ネットワークに関する基礎的・基本的な知識及び技術、並びにそれらを自らの目的のために活用できる基本的な知識と技術、これらの習得を目指す。また、情報や技術を科学的な見方で捉え、それらの利点を日常的に賢く活用できることを目指す。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	1 情報で問題を解決する	情報とメディアの特性を理解し、問題解決の流れや発想法を学ぶ。さらに、情報モラルや個人情報の流出に関するリスクを理解し、傷つかない・傷つけないための適切な情報の扱い方を身につける。著作権について学び、情報技術の発展が社会に与える影響や、情報化による私たちの生活の変化について考察する。よりよい情報社会の実現に向けて、適切な情報活用の力を養う。	5月27日	8月26日
2	2 情報を伝える	コミュニケーション手段の変化を学び、ネットコミュニケーションの特徴を理解する。さらに、デジタルの世界における情報の扱い方を学び、数値や文字、音や画像、色や動画のデジタル表現について理解を深める。目的に応じたデジタル化の手法を学習し、情報デザインやユニバーサルデザインの概念を習得する。情報デザインの流れを把握し、効果的な情報の伝達や表現を身につける。	6月24日	8月26日
3	3 コンピュータを活用する	コンピュータの基本的な構造や仕組みを理解し、ソフトウェアの役割や動作原理を学ぶ。さらに、演算の仕組みやコンピュータの限界について考察し、アルゴリズムの表現方法を習得する。プログラムの基本構造を学び、発展的なプログラミングの手法を身につける。加えて、モデル化とシミュレーションの概念を理解し、その活用方法を学習することで、実社会の問題解決に応用できる力を養う。	6月24日	8月26日
4	4 データを活用する	ネットワークとインターネットの基本的な仕組みを理解し、サーバとクライアントの関係やインターネット上のサービスについて学ぶ。さらに、情報セキュリティの重要性を理解し、安全に情報を取り扱う方法を身につける。データの形式やデータベースの活用方法を学び、さまざまなデータモデルを理解する。データ分析の流れを把握し、目的に応じた適切なデータの利用や活用について学ぶ。	7月22日	8月26日

3. スクーリング

- 実施回数:2回
- 実施内容:表計算ソフトを用いて、統計処理を行い、データの分析を行う。

4. 教材・参考資料

- 教科書:東京書籍『情報 I 』(情報306)
- 副教材:レポート解説授業、映像
- デジタル教材:デジタル教材UMU、東京書籍映像授業

科目名:家庭基礎 単位数:2単位 学年次:2年次 前期

1. 学習の目標

生活に関する実践的・体験的な学習を通して、様々な人々と協働しながら、男女が協力して家庭や地域の生活をより良くする力を育成する。具体的には、生活に必要な基礎知識と技能を身につけ、生活課題を見つけて解決する力を養い、地域社会に積極的に参画する実践的な態度を育む。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	『生涯を見通す』 『人生をつくる』 『共に生き、共に支える』	ライフステージの特徴と課題を理解し、生活における意思決定の重要性を学ぶ。多様な生き方を知り、生涯を見通したライフスタイルを考える力を養う。家族・家庭と生活の関係や関連法律・制度を理解し、仕事と家庭の両立や地域との関わりを学ぶ。多様性を尊重した社会づくりに貢献する姿勢を育む。	5月27日	8月26日
2	『子どもと共に育つ』 『超高齢社会を共に生きる』	性と生殖に関する健康を理解し、子どもの発達と生活環境について学ぶ。子育ての課題や社会全体での支援方法を考える。また、超高齢社会の背景を理解し、高齢者の心身の変化や生きがいについて学ぶ。家族や地域の支援のあり方、高齢者の自立を支える社会の仕組みを理解し、適切に関わる力を養う。	6月24日	8月26日
3	『食生活をつくる』 『衣生活をつくる』	健康的な食生活のために、栄養素の役割と食事の意義を理解する。安全で衛生的な食品の選び方や保存方法を学び、各ライフステージに適した栄養バランスのよい食事を考える。食文化や持続可能性について広い視野を持つ。 また、被服の社会的・文化的背景と機能を理解し、用途に合った着装を実践する。被服の素材や管理方法を科学的に学び、環境に配慮した持続可能な衣生活を実践する力を身につける。	6月24日	8月26日
4	『住生活をつくる』 『経済生活を営む』 『持続可能な生活を営む』 『これからの生活を創造する』	住居の機能とライフステージごとの住要求を理解し、防災や環境性能を学び、安全な住環境を整える力を養う。日本や世界の住文化への理解を深め、持続可能な住生活について考える。 また、責任ある消費者として、契約の仕組みを理解し適切な消費行動を身につける。消費者保護制度や権利と責任を学び、持続可能な社会に向けた消費のあり方を考える。ライフステージごとの生活設計やリスク管理を学び、社会の担い手として実践する力を養う。	7月22日	8月26日

3. スクーリング

- 実施回数: 2回
- 実施内容: スウェーデン刺しゅうコースターの特徴・技法について理解を深める。

4. 教材・参考資料

- 教科書: 東京書籍(家庭基礎701)
- 副教材: レポート解説授業、映像
- デジタル教材: デジタル教材UMU、東京書籍映像授業、NHK高校講座(家庭総合)

科目名:体育 I

単位数:2単位

学年次:1年次 前期

1. 学習の目標

体育を通じて、運動・スポーツの知識を深めるとともに、各種スポーツの特徴や効果的な技能習得の仕方について理解する。運動の実践を通じて、公正、協力、責任などの意欲を高め、運動の楽しさを味わうとともに、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を育てる。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	『スポーツの始まりと変遷』 『文化としてのスポーツ』 『オリンピックとパラリンピックの意義』 『陸上』	スポーツの誕生とその世界的普及の背景を学ぶ。単なる身体運動と比較し、スポーツが独自の文化として発展した理由や、多様な関わり方による文化の変容を具体例とともに考察する。また、オリンピック、オリンピックおよびパラリンピックが持つ普遍的な価値と意義についても理解を深める。	5月27日	8月26日
2	『スポーツが経済に及ぼす効果』 『スポーツの高潔さとドーピング』 『スポーツと環境』 『剣道』NHK高校講座	スポーツが経済活動や社会に与える影響について、関連業種の事例をもとに経済的意義を学ぶ。また、ドーピングや環境問題など、スポーツの高潔さを脅かす要因とその対策についても検討する。	7月22日	8月26日

3. スクーリング

□ 実施回数: 4 回

□ 実施内容: 様々なスポーツに触れながら、運動の特性を理解し、基本的な技能を修得する。

運動を各自が課題を持って取り組み、運動の楽しさや達成感を味わう。

自ら運動に親しむ能力を高め、卒業後も運動やスポーツを継続することができるようにする。

4. 教材・参考資料

□ 教科書: 大修館書店(保体701/ステップアップ高校スポーツ)

□ 副教材: レポート解説授業、映像

□ デジタル教材: デジタル教材UMU、東京書籍映像授業、NHK高校講座(体育実技)

科目名:体育Ⅱ 単位数:2単位 学年次:2年次 前期

1. 学習の目標

体育を通じて、運動・スポーツの知識を深めるとともに、各種スポーツの特徴や効果的な技能習得の仕方について理解する。運動の実践を通じて、公正、協力、責任などの意欲を高め、運動の楽しさを味わうとともに、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を育てる。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	『スポーツにおける技能と体力』 『スポーツにおける技術と戦術』 『技能の上達過程と練習』 『マット運動』	技能と体力の関係について学ぶ。技能や体力を高める際に気をつけるべき点を挙げ、技能の型の違いや、それぞれの練習方法について説明することができることを目指す。用具の改良やメディアの発達により、技術や戦術、ルールがどのように変化したかを学び、技能がどのようなステップを経て上達するか、練習によって技能が上達すると見られる特徴について理解する。	5月27日	8月26日
2	『効果的な動きのメカニズム』 『体カトレニング』 『運動やスポーツでの安全の確保』 『バスケットボール』	体の動きがどのような仕組みで開始され、持続されるかを学ぶ。よい動きを支える調整力、目的に応じたさまざまなトレーニング方法を学ぶ。筋力、持久力、調整力、柔軟性を高める具体的な方法を理解する。スポーツ外傷とスポーツ障害の違いや、スポーツ活動中に起きる重大な事故の発生原因と予防方法を理解する。	7月22日	8月26日

3. スクーリング

- 実施回数: 4 回
- 実施内容: 様々なスポーツに触れながら、運動の特性を理解し、基本的な技能を修得する。
運動を各自が課題を持って取り組み、運動の楽しさや達成感を味わう。
自ら運動に親しむ能力を高め、卒業後も運動やスポーツを継続することができるようにする。

4. 教材・参考資料

- 教科書: 大修館書店(保体701/ステップアップ高校スポーツ)
- 副教材: レポート解説授業、映像
- デジタル教材: デジタル教材UMU、東京書籍映像授業、NHK高校講座(体育実技)

科目名：体育Ⅲ

単位数：3単位

学年次：3年次 後期

1. 学習の目標

体育を通じて、運動・スポーツの知識を深めるとともに、各種スポーツの特徴や効果的な技能習得の仕方について理解する。運動の実践を通じて、公正、協力、責任などの意欲を高め、運動の楽しさを味わうとともに、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を育てる。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	『生涯スポーツの見方・考え方』 『球技（卓球）』 『球技（ソフトボール）』 『水泳』	社会の変化に伴い、スポーツの役割がどのように変化してきたのかを学び、各ライフステージに合わせたスポーツの楽しみ方について理解する。	10月28日	1月27日
2	『ライフスタイルに応じたスポーツ』 『陸上競技』 『武道（剣道）』	「する」スポーツライフスタイルについて具体例を通じて学び、自身のスポーツライフの諸条件を整理した上で、今後の豊かなスポーツライフを実現するための条件や工夫の方法を理解する。	11月25日	1月27日
3	『スポーツを推進する取り組み』 『豊かなスポーツライフの創造』 『ダンス』 『体づくり運動』 『体育理論』	国内でスポーツを推進してきた従来の取り組みを知り、自身が住む身近な地域で行われているスポーツ推進の事例を通じて、これまでとこれからのスポーツライフの違いを理解する。さらに、豊かなスポーツライフを創造するための課題について具体例を挙げながら考察する。	12月23日	1月27日

3. スクーリング

□ 実施回数： 4 回

□ 実施内容：様々なスポーツに触れながら、運動の特性を理解し、基本的な技能を修得する。

運動を各自が課題を持って取り組み、運動の楽しさや達成感を味わう。

自ら運動に親しむ能力を高め、卒業後も運動やスポーツを継続することができるようにする。

4. 教材・参考資料

□ 教科書：大修館書店（保体701／ステップアップ高校スポーツ）

□ 副教材：レポート解説授業、映像

□ デジタル教材：デジタル教材UMU、東京書籍映像授業、NHK高校講座（体育実技）

科目名:保健Ⅰ 単位数:1単位 学年次:1年次 後期

1. 学習の目標

- (1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。
(2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
(3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を身に付ける。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防・治療と回復 運動・食事と健康 休養・睡眠と健康	健康の考え方の変化について学び、健康を保持増進するために、いろいろな観点から知識を得る。	10月28日	1月27日
2	喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 精神疾患の特徴と予防 精神疾患からの回復 現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防	飲酒や喫煙、薬物乱用が心身に及ぼす影響について説明できるようにする。心身の適応能力を高める方法について学ぶ。	11月25日	1月27日
3	健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり 事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法	健康に関する適切な意思決定・行動選択の際の工夫について説明できるように学習する。交通事故の危険性をや、社会環境の健康への影響や交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について説明できる。また、応急手当の方法と手順について説明できる力を養う。	12月23日	1月27日

3. スクーリング

- 実施回数: 1回
□ 実施内容: 生涯を通して健康に過ごせるように、個人及び社会生活における健康・安全について学習する。

4. 教材・参考資料

- 教科書: 大修館書店(保体701)
□ 副教材: レポート解説授業、映像
□ デジタル教材: デジタル教材UMU、東京書籍映像授業

科目名:保健Ⅱ 単位数:1単位 学年次:2年次 後期

1. 学習の目標

- (1)個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。
- (2)健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- (3)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を身に付ける。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	ライフステージと健康 思春期と健康 性意識と性行動の選択 妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康 中高年期と健康	心と体は、年齢とともに変化する中で、健康のために私たちや社会がすべきことも、それにもなって変化する。思春期から中高年期までの健康にかかわることがらについて学ぶとともに、我々の健康を支えている保健・医療のしくみや、それらの活用のしかたなどについて理解する。	10月28日	1月27日
2	働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活 大気汚染と健康 水質汚濁、土壌汚染と健康 環境と健康にかかわる対策 ごみの処理と上下水道の整備	私たちが健康に生きていく上では、我々を取り巻く自然環境やそれを良好に維持するしくみ、また社会の制度や活動について理解する。	11月25日	1月27日
3	食品の安全性 食品衛生にかかわる活動 保健サービスとその活用 医療サービスとその活用 医療品の制度とその活用 さまざまな保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加	健康に関連する環境・食品の問題や、働くことと健康の関係・医療の仕組みについて学ぶ。	12月23日	1月27日

3. スクーリング

- 実施回数: 1回
- 実施内容: 生涯を通して健康に過ごせるように、個人及び社会生活における健康・安全について学習する。

4. 教材・参考資料

- 教科書: 大修館書店(保体701)
- 副教材: レポート解説授業、映像
- デジタル教材: デジタル教材UMU、東京書籍映像授業

科目名:自然科学探究Ⅱ 単位数:2単位 学年次:2年次 後期

1. 学習の目標

【化学物質】私たちの世界は化学物質によって作り上げられたとも言えるので、社会構造に大きな影響を与えた化学物質の具体例を見ながら、化学と世界史の視点を学びます。

【科学技術】農業機械が戦争を変えてしまったこと、戦争のための技術が食文化を変えてしまったことなどを学びながら、戦争と科学技術の関係を考える。また科学者が軍事技術や戦争にどう関わってきたのか、またどうして関わってしまうのかを問いつつ、その関与が肯定されるべきなのか否定されるべきなのかも考える。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	【化学物質】世界を変えた化学物質・漢方薬が効く理由	【化学物質】世界に大きな変革をもたらした化学物質を知る。漢方薬はどのように効くのか、西洋薬との違いは何かを考える。	11月25日	1月27日
	【科学技術】身の回りの科学技術の起源・ファッションとミリタリー	【科学技術】生活の中にあふれる科学技術の産物がどこから来たのかを知る。「ファッション・アイテム」と「軍事(ミリタリー)」の関係について考える。		
2	【化学物質】身の回りを化学で見る・化学の言葉で語る	【化学物質】身の回りにあるものを化学物質という観点で紐解き、迷信やニセ科学に騙されない目を養う。料理や食品加工を化学の眼で読み解き、化学の言葉で語る。	1月27日	1月27日
	【科学技術】科学者と戦争・科学者たちの戦後の活動	【科学技術】科学者が戦争とどう向き合ったのかから、科学技術が世界に影響を与えるときの、科学者の責任を考える。太平洋戦争に関わった日本の研究者の戦後の活動についてまとめる。		

3. スクーリング

□ 実施回数: 2回

□ 実施内容:【化学物質】さまざまな機能性樹脂について、その活用を学ぶ。

【科学技術】ファースト・コンタクト・シミュレーションを通じて、科学知識を活用し、異文化積極について体験する。

4. 教材・参考資料

□ デジタル教材: デジタル教材UMU、オンライン授業

科目名:自然科学探究Ⅰ

単位数:2単位

学年次:1年次 後期

1. 学習の目標

【宇宙】天文学で基本となっているアインシュタインの相対性理論を4つの原理を元に学び、世界を観測する新しい「眼」を養い、科学が描き出す驚きの世界を、問いを通じて考え体感する。さらに、物理理論の発見に至るまでの試行錯誤から、科学とは何かも考える。

【生命】遺伝子関連技術の基本を学びながら、クローンや遺伝子操作の倫理的問題についても考え、生命・生と死のあり方と意義について考察する。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	【宇宙】特殊相対性理論の世界と、物理学の発展 亜光速宇宙船体験記	【宇宙】特殊相対性理論の2大原理を学び、物理学の進歩における論争と失敗の意義について考える。亜光速宇宙船ではどのような物理現象が体験できるかを考える。	11月25日	1月27日
	【生命】品種改良の技術とゲノム編集、老化と死の仕組み 人為的身体機能の増強と遺伝子異常	【生命】遺伝子組み換え技術とゲノム編集について学び、その背景にある遺伝子がかさどる老化と死の仕組みとその意味をさぐる。先天性異常は英雄でドーピングは永久通報というスポーツの例から、公平不公平について考える。		
2	【宇宙】一般相対性理論の世界と、物理学における師弟関係 光速300mの世界	【宇宙】一般相対性理論の2大原理を学び、物理学研究において師弟関係がどのように影響したのかを考える。光速が秒速300メートルになったら、どんなことが今とは違うかを考える。	1月27日	1月27日
	【生命】アポトーシスと病気、創薬と再生医療、進化と共生、死と生 生物の仕組みを応用する	【生命】遺伝子からアポトーシスと病気の関係、創薬事業と再生医療の仕組みを考える。進化と共生の意味をさぐる。遺伝子操作でほぼ何でもできる時代に、生命科学は一体どこまで許されるのかを考察する。		

3. スクーリング

□ 実施回数: 2回

□ 実施内容:【宇宙】ニュートン力学を体感しつつ、地球と宇宙での物理現象の違いに触れる。また、グループワークを通して、論理的に物事を考える姿勢を身に着ける。

【生命】DNAの抽出を行い、生命に触れる。また、ゲームを通して生命の誕生、進化、淘汰のプロセスを実感する。

4. 教材・参考資料

□ デジタル教材: デジタル教材UMU、オンライン授業

1. 学習の目標

【取引と駆け引き】より豊かで賢明に暮らしていくために、すべての人が避けて通れないお金にまつわる判断について、知恵と知識の使い方を検討し、明確なヒントや指針の提案によって、独自の「比較判断の法則」を形成する。

【起業の知恵】起業には「課題解決」と「投資」が重要であることをいくつかの事例から学び、その2つは高校生でもできることであることを知り、更に自身が持っている様々な資本をどう社会の役に立てるかを考える。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	【取引と駆け引き】権利と義務、通貨と税金、保険とギャンブル。提供と預託	【取引と駆け引き】「備え」と「賭け」の違い、取引の非対称性、お金の本質について学ぶ。1万円の単純な提供と預託の違いを考える。	11月25日	1月27日
	【起業の知恵】お金を増やす方法、起業と投資の歴史。付加価値	【起業の知恵】お金を稼ぐ、物を売るとはどのようなことを考える。付加価値という観点で価値を考え出す。		
2	【取引と駆け引き】投資と投機、取引の罨、最適と均衡。幸福感	【取引と駆け引き】投資と投機など小名根にまつわる行動の本質を知り、取引成り立たせる心理に隠された秘密を探る。哲学と科学を通して幸福感の意味を考える。	1月27日	1月27日
	【起業の知恵】起業、資本、資産、投資。株式投資。	【起業の知恵】起業して商売をし会社を形壊死するとはどのようなことかを知る。株式投資とはどんな投資なのかを考える。		

3. スクーリング

□ 実施回数: 2 回

□ 実施内容:【取引と駆け引き】政策や規範に関する議論を通して、社会の基本的な合意形成の仕組みや、共通のルールに基づく運営のあり方を再認識する。ある特定の制度を例にとり、基本原則とその評価方法について考え、その原則に沿った制度統合の可能性について検討する。

【起業の知恵】各自が提案する機能追加や付加価値について議論し、製品の価値や価格を設定するプロセスを体験する。グループごとのプレゼンテーションを通して、参加者は価値判断の感覚を養い、どの提案が魅力的かを選択する体験をする。

4. 教材・参考資料

□ デジタル教材: デジタル教材UMU、オンライン授業

科目名:経済探究Ⅰ 単位数:2単位 学年次:1年次 後期

1. 学習の目標

【通貨の未来】お金の現在と未来の検討を通し、客観的規準に基づく「安心」とそれを支える「信用」の本質を探り、判断基準を身につけ、信用度を計量化できるようにする。同時に、自身の客体化による自己評価までを志向する。

【お金の正体】「お金の本質【正体】」を理解し、「生きたお金」について学び、お金の使い他について考える。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	【通貨の未来】通貨・紙幣・現金と価値。貨幣価値	【通貨の未来】人間が何に価値を見出すかを考え、通貨とは何か、「現金」とは何かを考察する。3000万円のマグロ1本、このまま持っていて資産といえるかについて考える。	11月25日	1月27日
	【お金の正体】お金の可能性と限界。価値の判断基準を持つ	【お金の正体】価値と値段の違いについて学び、変換可能性の事例から次世代のお金について考え、通貨を無制限に刷って配るとどうなるか、印象と情報で評価が動くのはなぜかなどについて考察する。仮想通貨【暗号資産】は円やドルに代わる通貨になりうるかについて考える。		
2	【通貨の未来】法定通貨と仮想通貨・お金と自由。貨幣特性	【通貨の未来】信用という観点から、法定通貨と仮想通貨について考察し、通貨の在り方、お金と自由について考える。10万円もらったが、欲しかったものが買えなくなっていた理由を考える。	1月27日	1月27日
	【お金の正体】お金の使い方・稼ぎ方	【お金の正体】通貨主権や信用創造について学び、借金の意味や税金と財源の意味と役割を考える。また損得勘定とその基準から稼ぐことの意味を探る。お金を使って得たいものの価値は何で、そこからどんな新しい価値を生み出すのかを考える。		

3. スクーリング

□ 実施回数: 2回

□ 実施内容:【通貨の未来】お金ではないものに命を吹き込むにはどうすればいいかを考える。価値を動かすのが「お金」で、これはみんなの合意と気分で成り立っているだけのものであることを学ぶ。

【お金の正体】借り物競争×物々交換ゲームを体験する。あなたが持っているものを、それを必要としている人と交換し、最終的に自分が必要としているものを入手できるかを体験する。

4. 教材・参考資料

□ デジタル教材: デジタル教材UMU、オンライン授業

科目名:数理科学探究Ⅱ 単位数:2単位 学年次:3年次 前期

1. 学習の目標

【ゲーム理論】日常空間及び対戦環境における戦略的思考の無意識の反復と、ゲーム理論による分析を経た戦略思考の意識的実行場面との差異と効果を学ぶ。

【データサイエンス】現代から次世代に及ぶ課題を認識し、局面の理解と最先端技術への考察を通して、変化・変容に対するより適切な対応の在り方を学ぶ。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	【ゲーム理論】意思決定と協力のダイナミクス:理論と実践。チキンゲーム	【ゲーム理論】ゲーム理論の基礎を学び、人の意思決定が状況に応じてどのように変化するかを戦略思考の観点から検討する。自然界や日常生活におけるゲーム理論の応用を探る。「チキンゲーム」が消耗戦になる理由を具体事例で考える。	6月24日	8月26日
	【データサイエンス】「AIと人間:理論と現実の探求。AIを定義する。	【データサイエンス】AIの定義と人間との関係を理解し、AIの可能性と限界を探る。歴史的視点から仕事の未来を考察する。AIへの定義を試みる。		
2	【ゲーム理論】戦略思考と情報の役割:理論と現実の接点。プレイヤーの性質	【ゲーム理論】ゲーム理論の応用を深め、寡占市場や群集心理、協力と均衡の概念を理解する。情報の重要性と戦略思考の役割を学び、実生活での意思決定に応用する。プレイヤーの一方が不合理である限り、落着点を読めない事実を具体事例で考える。	8月26日	8月26日
	【データサイエンス】データサイエンスと機械学習:基礎から応用まで。データサイエンスの使いどころ	【データサイエンス】データサイエンスの基本とPythonの基礎を学び、機械学習アルゴリズムの理解を深め、その応用を探究する。データサイエンスが最も価値的に機能する場面を検討する。		

3. スクーリング

□ 実施回数: 2 回

□ 実施内容:【ゲーム理論】ワークショップを通じて、戦略思考を学ぶ。戦争はなぜ起こるのかを考え、ゲーム理論を使って結論を導き、自分の意見をまとめる。

【データサイエンス】さまざまなツールを利用し、データサイエンスに必要な統計学の基本を学ぶ。

4. 教材・参考資料

□ 副教材:インカの黄金

□ デジタル教材:デジタル教材UMU、オンライン授業

科目名:数理科学探究Ⅰ 単位数:2単位 学年次:2年次 前期

1. 学習の目標

【微分積分】微分積分の原理を掴み、変化の分析と未来予測に適用する。歴史と理論を踏まえ、数学を現実世界に映す抽象的思考を養う。

【確率統計】確率とベイズの定理の基礎を学び、実世界の意思決定やデータ分析への応用を探究する。認知バイアスの理解とAIやマーケティングへの応用を深める。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	【微分積分】微分積分入門:基礎から応用までの探究。変化のする社会	【微分積分】微分積分学の基礎を理解し、極限について考え変化を分析する力を身につける。矛盾と未来予測への応用を通じて、数学的思考を深める。新聞記事などから社会現象を取り上げ、今後の社会の動向を予測できる力を育成する。	6月24日	8月26日
	【確率統計】「確率の基礎とその実世界への応用。統計はうそをつく	【確率統計】確率の基本的概念の理解と意思決定への応用を学ぶ。確率と頻度の違い、認知バイアス、確率分布の理解を深め、データの扱い方とスポーツへの応用を探る。統計的にウソをつくことを実践し、それによってどうすれば騙されないか、どうすれば人を騙さすことがないかを学ぶ。		
2	【微分積分】微分積分の深化:歴史から世界への応用。私の人生グラフ	【微分積分】微分と積分の関係性を理解し、理論の実世界への応用を学ぶ。歴史的発展と数学的世界観を探求し、抽象的な概念を具現化する。微分積分を通じた視点を生かして自分の人生グラフを描き、変化の理由を分析する。	8月26日	8月26日
	【確率統計】ベイズ統計からAIへの応用と実践。未来の方程式	【確率統計】ベイズの定理とその応用を学ぶ。医療やテスト成績、実世界の事例におけるベイズ推定の利用を理解し、AIやマーケティングへの応用を探究する。フェルミ推定に類する方程式を利用することで、確率を高くする戦略を立てる。		

3. スクーリング

□ 実施回数: 2 回

□ 実施内容:【微分積分】分析的(微分的)に社会問題を観察し、傾向を読み取る。また、グループワークを通して考えを深めたり共有したりすることによって内容の整理・探究を行う。

【確率統計】統計的に理解したルールの特徴を元に、よりよくするための改正案を考え提案し共有する。

4. 教材・参考資料

□ デジタル教材:デジタル教材UMU、オンライン授業

科目名:哲学探究Ⅱ 単位数:2単位 学年次:3年次 前期

1. 学習の目標

【正義】嘘についての倫理、正義が互いに働く仕組み、みんなに当てはまるルール、結果を重視する考え方、自由を大切に思想、倫理に関わる問題、公平な正義、多様性と差、真実を伝えること、命の大切さ、平等の意味を理解し、倫理の問題をしっかりと考える力をつける。

【自由】人と動物の自由の違いや、自由に選ぶ心と決まった運命、個人の自由とみんなの自由、自由を実現する方法とその制限、権力の正しさ、学校や社会での自由、自由が持ついろいろな意味、人の欲望と自由、自由と正義のつながり、お互いを認め合う自由、勉強と自由の関係を理解し、自由に関する難しい問題をよく考える力をつける。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	【正義】義務としての正義と自由。自由至上主義	【正義】嘘や正義、殺人や功利主義、自由や犠牲といった倫理的問題に対し、自らの価値観を明確にし、議論を通して深く考察することを目的とする。また、自由至上主義が日本社会に与える影響についても探求する。	6月24日	8月26日
	【自由】自由の実現①。無制限な自由の中で	【自由】人間と動物の自由の違いを踏み台に、自由意志や自粛要請、文明の発展、権力の正当性といった多角的な視点から「自由」の本質を探求する。特に、何でもできる自由がかえって不安を生み、明確な指示や答えを求める心理について理解を深めることを目指す。		
2	【正義】公正と正義と自由。AIと職業	【正義】多数決や努力と成功、養子やAI、平等など、さまざまなテーマについて考える。それぞれのテーマの問題点や倫理問題について、めいめい基準に基づいて自分の考えを持つ。今ある職業がAIに取って代わられるとどうなるかを考察。	8月26日	8月26日
	【自由】自由の実現②。人生の自由	【自由】正義と自由、また自由と社会的制約の関係を例示しながら、自由とは何か、どうあるべきかを問う。また、勉強が人間の価値観や自由に与える影響を探求し、将来の夢や自由実現の困難を、学習で得た視点から考察する。		

3. スクーリング

□ 実施回数: 2回

□ 実施内容:【正義】プレゼンテーションを交えながら、相応しさ、正義についての思考を進める。【自由】高校生がツイッターで炎上してしまった際の問題や、学校側の対応についてディスカッションをおこなう。

4. 教材・参考資料

□ デジタル教材: デジタル教材UMU、オンライン授業

科目名:哲学探究Ⅰ 単位数:2単位 学年次:2年次 前期

1. 学習の目標

【価値観】人(主体)の認識の対象となるコトやモノ(客体)は、常になんらかの価値を伴う。たとえば美醜は「審美的価値」であり、利害は「経済的価値」、善悪は「道徳的価値」となる。この主体と客体の関係によって成り立つものこそ「価値観」であることを認識し、「価値」の可変性と「価値観」の多様性から、人間に対する深い理解を探るのが本講座の目的である。

【懐疑】哲学的思考のスタート地点である「懐疑」の意味を知り実践する。特に意識することなく常識として流してしまうことの中にも懐疑の余地が大きいことを知る。

2. 指導計画

回	学習項目	学習内容	学習・提出期限	提出最終期限
1	【価値観】概念の本質と倫理: 価値、真理、創造性の探究、交換価値	【価値観】主体と対象との関係性、事実の不変性と可変性、個人の欲望と目標の充足、そして新しい関係性を創造する方法について深く考察します。「高級品」とは何かを考える。	6月24日	8月26日
	【懐疑】自己と哲学: 探究と挑戦、一日三食は妥当か?	【懐疑】性別に関連する色の使用に対する社会的な認識とその歴史的な由来を探究し、一般に受け入れられている常識や規範に対する哲学的な懐疑を養います。常識を疑う思考、根拠を探して持論を確立。		
2	【価値観】判断と基準: 好悪、善悪、評価の分析、価値判断	【価値観】評価主体の変化と視点の移動、主観的価値と客観的価値、価値の異なる次元、そして人間を評価の対象とする際の複雑さに焦点を当てます。主観と客観について考える。	8月26日	8月26日
	【懐疑】言語と認識: 理解と所在の探究、AIは知的労働を奪うか?	【懐疑】読書と言語に関する言説を批判的に評価し、知識と認識の間関係を深く理解することを目指します。実践的三段論法、AIの知能、知的労働について考察する。		

3. スクーリング

□ 実施回数: 2回

□ 実施内容:【価値観】ディスカッション「好きなものと好きな理由」。オークションによって価値の変動を見る。

【懐疑】ディスカッション「一人の命は地球より重い」「自殺はなぜダメかについてカントならどう考えるか?」

4. 教材・参考資料

□ デジタル教材: デジタル教材UMU、オンライン授業